


October 2021
NHK Symphony Orchestra, Tokyo



**PHIL
HAR
MONY**

感染症予防対策についての取り組み

みなさまに安心して演奏をお楽しみいただけるように、以下の感染症予防対策について、ご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

- 会場内では、必ずマスクを着用し、手洗い、手指の消毒、咳エチケットにご協力ください。
- 感染予防のため休憩中も含め、客席内ではご自身のお座席以外への着席はご遠慮ください。
- 入退場時および会場内では、まわりの方々との距離を確保した上で行動くださいますよう、ご協力をお願いいたします。また、混雑緩和のために入退場時に、制限をさせていただく場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 当日、チケット半券のみぎりは、係員の確認後、お客様ご自身でお願いいたします。また、プログラムは所定の場所からお客様ご自身でお持ちください。
- 政府や自治体によるイベント開催要件に変更があった場合は、チケット販売の一時停止や入場者数上限の設定等を行います。
- ロビー等では大きな声での歓談はお控えください。
- 「ブラボー」等の掛け声はお控えください。
- サイン会は実施しません。また、楽屋口での出演者の入待ち・出待ちはお断りいたします。また出演者への面会やプレゼントもお断りいたします。
- 万が一、ご来場のみなさまの中から新型コロナウイルス感染者が発生した場合には、保健所など公的機関へチケット購入時にいただいたお客様の情報を提供する場合がございます。またその場合、複数枚をご購入いただいた方には、同伴者など、当日ご来場いただいた方の連絡先をお伺いいたします。あらかじめご承知おきください。
- 喫茶コーナーは休止しております。
- 会場内でのお食事はお控えください。また持ち込みもご遠慮ください。
- クロークは休止しております。
- ブランケット等の貸し出しサービスは休止いたします。必要に応じて、防寒の備えをお勧めいたします。
- 会場内での他の公演のチケット販売は行いません。またCD等の販売もございません。
- 会場内のドアノブや座席の手すりなどはあらかじめ消毒を実施します。
- 会場内の常時換気、開場中および休憩中の客席扉の開放など空気の流れ替えに努めます。
- スタッフもマスクの着用等、ご来場のみなさま同様に感染予防の対策を行います。また、業務の内容により、フェイスシールドやビニール手袋の着用をさせていただきます。
- 厚生労働省による「新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCOA)」の活用を推奨いたします。

お客様へのお願い



公演中は携帯電話、時計のアラーム等は必ずお切りください



演奏は最後の余韻までお楽しみください



場内での録音、録音、写真撮影は固くお断りいたします



私語、パンフレットをめくる音など、物音が出ないように配慮ください



演奏中の入退場はご遠慮ください



補聴器が正しく装着されているかご確認ください

PHILHARMONY

CONTENTS
OCTOBER 2021

10

- 3 [公演プログラム] Ikebukuro Program A
7 [公演プログラム] Program B
10 [公演プログラム] Ikebukuro Program C
13 [シリーズ] N響百年史 | 第22回 | 大正14年の豪壮なるロシアン・プラス 片山杜秀
18 11月定期公演の聴きどころ—公演企画担当者から
20 チケットのご案内(定期公演 2021年9月~2022年6月)
21 2021-22定期公演プログラム
24 各地の公演
27 NHK交響楽団メンバー
28 特別支援・特別協力・賛助会員
32 曲目解説執筆者 / Information
33 みなさまの声を聞かせください!
34 NHK SYMPHONY ORCHESTRA, TOKYO Members
35 The Subscription Concerts Program 2021-22
38 役員等・団友

インターネットアンケートに ご協力ください

N響では、今後のよりよい公演の実現に向けて、インターネットでアンケートを行っています。ご鑑賞いただいた公演や、N響の活動に対するみなさまのご意見を、ぜひお寄せください。ご協力をお願いいたします。

詳しくは33ページをご覧ください



こちらのQRコードから
アンケートページへアクセスできます



<https://www.nhkso.or.jp/enquete.html>

Special Thanks



NHK SYMPHONY ORCHESTRA T O K Y O

特別支援


With Special Support of

岩谷産業株式会社

Iwatani Corporation

 三菱地所株式会社

Mitsubishi Estate Co., Ltd.

 みずほ銀行

Mizuho Bank, Ltd.

公益財団法人 渋谷育英会

Shibuya Scholarship Foundation

NHK交響楽団は上記の各社から特別支援をいただいております。

2020年2月、ウィーン・コンツェルトハウスにて
©Lukas Beck

池袋

A

10/16 土 6:00pm10/17 日 2:00pm

Concert No.1939 Tokyo Metropolitan Theatre

October

16 (Sat) 6:00pm

17 (Sun) 2:00pm

指揮
conductor

ヘルベルト・ブロムシュテット

Herbert Blomstedt

ヴァイオリン
violin

レオニダス・カヴァコス

Leonidas Kavakos

コンサートマスター
concertmaster

白井 圭

Kei Shirai

ブラームス

ヴァイオリン協奏曲 二長調 作品77 [40']

I アレグロ・ノン・トロッポ

II アダージョ

III アレグロ・ジョコーソ、

マ・ノン・トロッポ・ヴィヴァーチェ

— 休憩(20分) —

ニルセン

交響曲 第5番 作品50 [35']

I テンポ・ジューストーアダージョ

II アレグロ・プレストー

アンダンテ・ポーコ・トランクワイロー

アレグロ(テンポ・ブリーモ)

Johannes Brahms (1833–1897)

Violin Concerto D Major Op. 77

I Allegro non troppo

II Adagio

III Allegro giocoso, ma non troppo vivace

— intermission (20 minutes) —

Carl Nielsen (1865–1931)

Symphony No. 5 Op. 50

I Tempo giusto – Adagio

II Allegro – Presto – Andante poco tranquillo –

Allegro (Tempo I)

後援：豊島区

Under the auspice of: Toshima City

Artist Profiles

ヘルベルト・ブロムシュテット (指揮)



1927年スウェーデン人の両親のもとにアメリカのマサチューセッツ州スプリングフィールドで生まれる。ストックホルム王立音楽院などで学び、1954年、ストックホルム・フィルハーモニー管弦楽団(現ロイヤル・ストックホルム・フィル)を指揮してデビュー。ノールショピング交響楽団(スウェーデン)、オスロ・フィルハーモニー管弦楽団、デンマーク放送交響楽団、ドレスデン国立歌劇場管弦楽団、スウェーデン放送交響楽団などの首席指揮者を歴任した。1985年からの10年間はサンフランシスコ交響楽団音楽監督としてこの楽団に黄金時代をもたらし、その後1996年から北ドイツ放送交響楽団の音楽監督、1998年からはライプツィヒのゲヴァントハウス管弦楽団のカペルマイスターを務めた。N響との初共演は1981年で、オーソドックスな音楽作りが高く評価され、1986年に名誉指揮者に就任、今日まで夥しい回数のおびただしい共演を重ねて深い信頼関係を築き上げ、2016年には桂冠名誉指揮者となっている。90歳を越えた今もなお、正統的なスタイルのうちに表現意欲に溢れる演奏を聴かせている。今回は3公演ともに十八番の北欧作品が入っており、特に池袋Aプロのニルセン《交響曲第5番》とBプロのステンハンマル《セレナード》は演奏機会が少ないだけに聴きものだ。池袋Cプロのドヴォルザーク《第8番》もN響では初めて取り上げる作品なだけに注目されよう。

[寺西基之／音楽評論家]

レオニダス・カヴァコス (ヴァイオリン)



ギリシャのアテネに生まれたカヴァコスは5歳でヴァイオリンを始め、ギリシャ国立音楽院でステリオス・カファンタリスに、その後アメリカのインディアナ大学で名匠ジョゼフ・ギンゴールドに学んだ。1984年、アテネ音楽祭でコンサート・デビューを飾り、翌1985年、ヘルシンキで行われたシベリウス国際コンクールに最年少で参加して優勝した。さらに1988年、ニューヨークで開催されたナウムバーグ国際コンクール、ジェ

ノヴァでのパガニーニ国際コンクールでも優勝し、欧米で積極的な活動を始めた。

これまでにベルリン・フィルハーモニー管弦楽団、ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団など世界的なオーケストラと共演を重ね、リッカルド・シャイー、マリス・ヤンソンスなどの名指揮者と共演している。また室内楽奏者としても、指揮者としても積極的な活動を行っている。NHK交響楽団とは2000年に初共演。以後、2002年、2005年にも共演しており、今回が久々の共演となる。

[片桐卓也／音楽評論家]

1894年11月、29歳のカール・ニルセン(1865~1931)は、ウィーンのヨハネス・ブラームス(1833~1897)の家へ向かっていた。彼の手にはコペンハーゲンでの初演を終えた《交響曲第1番》のスコア。しかし紹介の労をとった友人と話し込む61歳の巨匠からは、時折凍り付くような視線が投げかけられるのみだった。本日前半に演奏されるこの巨匠の協奏曲はゲヴァントハウス管弦楽団で初演された。そのゲヴァントハウス管弦楽団が初めて演奏したニルセンの作品が《交響曲第5番》(指揮はフルトヴェングラー)。以後この楽団はニルセンの作品で《交響曲第5番》を最も多く取り上げている。北欧とドイツ音楽に造詣深くゲヴァントハウスと縁あるプロムシュテットならではの2曲を楽しみたい。

ブラームス

ヴァイオリン協奏曲 二長調 作品77

ベートーヴェン、メンデルスゾーンと並ぶ三大ヴァイオリン協奏曲のひとつとして知られる作品。この協奏曲の初演者であり作品を献呈されたヴァイオリニスト、ヨーゼフ・ヨアヒム(1831~1907)とブラームスの出会いは1853年。2人はすぐにお互いの才能を認め合い、演奏、作曲の両面で協力関係となった。歳月が流れ1877年、サラサーテが演奏するブルッフの《ヴァイオリン協奏曲第2番》を聴いたことが、ブラームスを協奏曲の作曲に向かわせた。スケッチは1878年2月頃に始まり、7月には前年《交響曲第2番》の作曲も行ったお気に入りの避暑地ペルチャハで本格的に進んだ。そこから1879年の初演、そして初版出版まで、実に多くのコメントがブラームスとヨアヒムの間に行き交った。細部にわたりヨアヒムの具体的な提案があったことが記録からはっきりわかる。2人の共作ともいえる協奏曲だ。

この作品は3つの楽章のバランスがI = II + IIIという長さになっている。当初ブラームスは4つの楽章の構想で作曲したが、途中で中間の2つの楽章を破棄して、オーボエによる長い甘美な旋律を持つ緩徐楽章に差し替えた。作曲家諸井誠氏は、第1楽章のカデンツァ後の部分には第2楽章を思わせる甘美な旋律と、第3楽章に登場する3度音程の重音パッセージがみられ、これらは続く2つの楽章への伏線であろうと分析している。このような緻密に練り上げられた構成のもと、ソリストの技巧を押し出す当時の主流と異なり、オーケストラとともに作品を作り上げる手法の協奏曲である。

作曲年代	1878年
初演	1879年1月1日、作曲者自身の指揮、ヨアヒムの独奏、ライブツィヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団
楽器編成	フルート2、オーボエ2、クラリネット2、ファゴット2、ホルン4、トランペット2、ティンパニ1、弦楽、ヴァイオリン・ソロ

交響曲 第5番 作品50

ニルセンの6曲の交響曲の中で4曲は副題を持つが、限定した解釈をされることを恐れて《第5番》は無題とした。しかし草稿譜には「戦争・闘い」というコンセプトにつながる言葉が残されている。《第5番》の6年前に初演された《第4番》も「闘いと生存」がテーマとされているが、この2曲の作曲についてはニルセンの人生の闘いの意味も含まれている。

《第4番》作曲の頃から別居していた、著名な彫刻家である妻アンネ・マリーと再び関係を回復してコペンハーゲンとともに暮らすことになったのが、まさにこの《第5番》を書き上げた1922年1月15日のこと。人生の孤独とともに仕事上もコペンハーゲンの音楽界から締め出されていた時期を経験したニルセン。この2曲の間は心身ともに追い込まれた時期だった(ちなみにこの時期のニルセンを支えたのが、《第5番》を献呈された実業家ミカエルセン夫妻。夫妻はニルセンの音楽を高く評価していた)。

第1次世界大戦が終わり、ニルセンは再び他国で自作を披露する機会も得、友人たちの支えもあり気力を取り戻した先にこの交響曲が生まれている。

《第5番》はほかの5曲の交響曲と異なり2楽章構成である。

第1楽章 全体の構成は、テンポ・ジュスト、アダージョの牧歌的な緩徐楽章風、そして終盤の破壊的な楽想と、3つの部分からなる。冒頭、ヴィオラによる宇宙空間を思わせる断続的なドーラの波打つ音型に始まり、その上をファゴット先頭に無垢な旋律が漂うが、邪悪なもの姿が次第に大きくなる。「オーケストラの進行を何としても止めるかのような」という作曲家からのコメントを背景に、最後の50小節間小太鼓が活躍する。オーケストラ本体とは異なるテンポ、異なる拍子の演奏、そして即興演奏の指示も続く。ここは聴きどころのひとつ。最後はクラリネットの物悲しいソロとのデュエットのカデンツァとなる。恐怖が去りつかの間の静寂が訪れる。

第2楽章 全体は4つの部分からなる。アレグロの提示部に続きプレストのフーガ、アンダンテ・ポーコ・トランクイロのフーガ、そして冒頭と同様のテーマによるコーダで締めくくられる。ニルセンは《第2番》以降の交響曲に調性を明記していない。定型に縛られない自由奔放な書法の中に、不安定な時代が醸し出す雰囲気と、それ^{たいじ}に対峙する人の抗う心を幅広く表現している。

作曲年代	1921年～1922年
初演	1922年1月24日、作曲家自身の指揮、コペンハーゲン音楽協会
楽器編成	フルート3(ピッコロ1)、オーボエ2、クラリネット2、ファゴット2、ホルン4、トランペット3、トロンボーン3、チューバ1、ティンパニ1、タンブリン、トライアングル、サスペンデッド・シンバル、チェレスタ1、小太鼓、弦楽、バンダ:小太鼓

B

第1941回 サントリーホール

10/27 水 7:00pm

10/28 木 7:00pm

Concert No.1941 Suntory Hall

October

27 (Wed) 7:00pm

28 (Thu) 7:00pm

指揮
conductorヘルベルト・ブロムシュテット | プロフィールはp.4
Herbert Blomstedtコンサートマスター
concertmaster篠崎史紀
Fuminori Maro Shinozaki

ステンハンマル

セレナード へ長調 作品31 [36']

- I 序曲
- II カンツォネッタ
- III スケルツォ
- IV 夜想曲
- V 終曲

— 休憩 (20分) —

ベートーヴェン

交響曲 第5番 ハ短調 作品67 [31']

- I アレグロ・コン・ブリオ
- II アンダンテ・コン・モート
- III アレグロ
- IV アレグロ

Wilhelm Stenhammar (1871–1927)

Serenade F Major Op. 31

- I Overtura
- II Canzonetta
- III Scherzo
- IV Notturmo
- V Finale

— intermission (20 minutes) —

Ludwig van Beethoven (1770–1827)

Symphony No. 5 C Minor Op. 67

- I Allegro con brio
- II Andante con moto
- III Allegro
- IV Allegro

本プログラムは、スウェーデンで活躍した後期ロマン派のヴィルヘルム・ステンハンマル（1871～1927）と19世紀初期のルートヴィヒ・ファン・ベートーヴェン（1770～1827）の組み合わせ。ほぼ100年の年齢差があるが、この間、ベートーヴェンの「大作曲家」としての評価は揺るぎないものとなった。器楽曲、特に交響曲は、彼に続く者たちにとって挑むべき重大なジャンルとなった一方で、管弦楽のためのセレナードはむしろ過去への憧憬^{どうけい}を表出する音楽として19世紀以降に流行を見た。ステンハンマルも2曲の交響曲で厳しい挑戦をした一方で、《セレナード》ではより寛^{くつろ}いだ表情を見せてくれるだろう。

ステンハンマル

セレナードへ長調 作品31

ステンハンマルはストックホルムに生まれ、没した音楽家である。幼少時より音楽の才能を発揮したが、ほぼ独学でピアニスト、指揮者、作曲家の道へ進んだ。北欧における管弦楽や合唱の演奏活動を活性化するとともに、当時一般的なジャンルのほぼ全てで残された作品は、スウェーデンのナショナリズムと作曲家の個性の間で絶妙なバランスが取られた作風で知られる。《セレナード》は今日でも取り上げられる機会の多い作品のひとつ。創作のきっかけは1907年の謝肉祭期間でのイタリア滞^{ざい}在^{ざい}で、彼は春に対するフレんツェの人々の熱狂のようなものを題材とした管弦楽曲を書く希望を持ったという。

本日取り上げられる改訂稿は初稿の両端楽章をホ長調からへ長調へ移調し、第2楽章を書き換えるといった変更が加えられている。第1楽章〈序曲〉は謝肉祭^{けんそう}の喧騒^{けんそう}を表すかのような陽気な気分と静謐^{せいひつ}かつ繊細な部分が交替する導入部で始まる。主部の主要主題は導入部の喧騒^{けんそう}に基づく一方で、副次主題は厳かな聖歌を思わせる。再現部でこの聖歌に喧騒^{けんそう}が顔を出す点が興味深い。

中間の3つの楽章は休止なしで続けるよう指示がある。第2楽章〈カンツォネッタ〉は3部形式による。ワルツにも似たリズムでクラリネットから憂いを持った歌が流れ始める主部に対し、長調へ転じる中間部は弦の響きが特徴的。第3楽章は性格の異なるリズムが争い合うかのようなスケルツォで、作曲家自身は「粗野な間奏曲」と呼んだことがある。第4楽章は夜なき鶯^{うぐいす}の模倣^{まぼろし}のような管楽器のソロもあり、表題の〈夜想曲（ノットウルノ）〉のとおり、喧騒^{けんそう}後の夜の静けさを表現していると思われる。途中で第3楽章の断片が現れるのは喧騒^{けんそう}がまだ残っていることを示しているのだろうか。最後の第5楽章は〈終曲〉とだけ題^{だい}されてはいるが、夜明けを示唆^{しそ}するかのよう^{よう}に、躍動的な音楽が現れる一方で、雄大な歌も顔を出し、楽章全体をシンフォニックな響きへと誘^{いざな}っていく。

作曲年代	1908年、スウェーデン南西部メッラングレフにて、および1912～1913年、スウェーデン南西部セーレ、ヴェスタナにて。改訂稿は1919年
初演	[初稿] 1914年1月20日、ストックホルム、スウェーデン王室宮廷管弦楽団、作曲者自身の指揮 [改訂稿] 1920年3月3日、エーテボリ、エーテボリ交響楽団、作曲者自身の指揮
楽器編成	フルート2(ピッコロ1)、オーボエ2(イングリッシュ・ホルン1)、クラリネット2、ファゴット2、ホルン4、トランペット2、トロンボーン3、ティンパニ1、小太鼓、大太鼓、シンバル、トライアングル、グロッケンシュピール、サスペンデッド・シンバル、弦楽

ベートーヴェン

交響曲 第5番 ハ短調 作品67

ベートーヴェンの代名詞とも言えるこの作品は、彼の生前には音楽のロマン主義を切り開いたとの評価もあり、当時の聴き手に与えたインパクトはかなりのものだったと推察される。あの巨大な《第3番「英雄」》に比べてコンパクトではあるが、交響曲の歴史に位置付けてみると興味深い特徴が目立つ作品でもある。

第1楽章は冒頭で闘争的な「運命動機（「タタター！」）」を印象付けたあと、それとは真逆な性格の副次主題の部分においてもこの動機が現れるなど、ひとつの細胞が次から次へと増殖を繰り返していくエネルギーを感じさせる。第2楽章は内省的な歌と、最終楽章を先取りしたかのような勝利の凱歌が交互に現れて変奏が施されていく。彼以前の変奏曲は構成の仕方がより規則的だったが、この楽章は《英雄》の最終楽章と同様に自由な構成を採っているのである。第3楽章のスケルツォは低弦だけの不気味な吹きのように始まる点が非常に異例で、のちに現れるホルンの「運命動機」からが主部のように錯覚させる。中間部のトリオは長調に転じ、これまた低弦から始まるが、こちらは旋律をさまざまなパートで模倣し合い、力強さとともにユーモアも感じられよう。主部の再現は弦のピチカートと木管楽器による音量を落とした変奏が繰り返されたのち、ティンパニの登場とともに第4楽章へ連結する部分へ。ここで長調への転換、音量の急激な増大が図られたあと、第4楽章主要主題が全管弦楽によってパワフルに提示される。この部分のために、ベートーヴェンはそれまで交響曲の楽器として全く一般的でなかったトロンボーンやピッコロ、コントラファゴットを導入し、先述した凱歌のような性格を強めているのである。テンポを加速させたコーダを経て、最後の和音が長く引き伸ばされる点も含め、この作品は交響曲の歴史に新たな、そして大きな足跡を残したと言えるだろう。

作曲年代	1804年からスケッチ開始。1808年初頭に一応の完成
初演	1808年12月22日、ウィーン、作曲者自身の指揮
楽器編成	フルート2、ピッコロ1、オーボエ2、クラリネット2、ファゴット2、コントラファゴット1、ホルン2、トランペット2、トロンボーン3、ティンパニ1、弦楽

PROGRAM



第1940回 東京芸術劇場

10/22 金 7:30pm

10/23 土 2:00pm

Concert No.1940 Tokyo Metropolitan Theatre

October

22 (Fri) 7:30pm

23 (Sat) 2:00pm

指揮
conductor

ヘルベルト・ブロムシュテット | プロフィールはp.4

Herbert Blomstedt

コンサートマスター
concertmaster

白井 圭

Kei Shirai

[開演前の室内楽(池袋Cプログラム限定)]

22日(金)6:45pm～/23日(土)1:15pm～

ヴァイオリン: 白井 圭、大林修子

ヴィオラ: 佐々木 亮

マルティナー / セレナード 第2番 H. 216

※演奏はご自身の座席でお楽しみください。

※演奏中の客席への出入りは自由です。

[Pre-concert Chamber Music

- Exclusive to Ikebukuro Program C]

Friday 22nd from 6:45pm / Saturday 23rd from 1:15pm

Kei Shirai (vn.), Nobuko Obayashi (vn.) & Ryo Sasaki (va.)

Martinů / Serenade No. 2 H. 216

*You may enter and leave as you please during the performance.

*Enjoy chamber music from your own seat.

グリーグ

「ペール・ギュント」組曲 第1番 作品46

[15']

I 朝

II オーセの死

III アニトラの踊り

IV 山の王の宮殿で

ドヴォルザーク

交響曲 第8番ト長調 作品88 [34']

I アレグロ・コン・ブリオ

II アダージョ

III アレグレット・グラチオーソ

IV アレグロ・マ・ノン・トロppo

*この公演に休憩はございません。あらかじめご了承ください。

Edvard Grieg (1843–1907)

“Peer Gynt,” suite No. 1 Op. 46

I Morning

II Aase's Death

III Anitra's Dance

IV In the Hall of the Mountain-King

Antonín Dvořák (1841–1904)

Symphony No. 8 G Major Op. 88

I Allegro con brio

II Adagio

III Allegretto grazioso

IV Allegro ma non troppo

*This concert will be performed with no intermission.

後援: 豊島区

Under the auspice of: Toshima City

民族主義の音楽が台頭した19世紀後半の作曲家として、エドヴァルト・グリーグ(1843~1907)はノルウェーの、そしてアントニーン・ドヴォルザーク(1841~1904)はチェコの代表人物と見なされている。どちらの音楽にもクラシック音楽ファンを超えて広く知られたメロディがあり、本日演奏される《「ペール・ギュント」組曲第1番》はまさにそうで、このような心に残る数々のメロディは、彼らの音楽の大きな魅力のひとつであろう。《交響曲第8番》もそのようなドヴォルザークの魅力あふれる傑作である。

グリーグ

「ペール・ギュント」組曲 第1番 作品46

『ペール・ギュント』はノルウェー人作家ヘンリック・イブセンが1867年に出版した韻文による全5幕の喜劇である。ノルウェー民話を下地に、農家の息子で大嘘つきのペールが自分勝手に振る舞いながら世界を旅する様子が描かれる。この物語のテーマは「自分自身であるとは何か」であり、それが分からなくなっていたペールは最後に故郷で待つ恋人ソルヴェイグに救われる。グリーグは1874年1月にイブセンから作曲依頼の手紙を受け取った。しかしこの戯曲のことを「あらゆる題材の中で最も非音楽的」と言うほど作曲には苦戦し、ようやく完成したのは1875年7月のことだった。全26曲、演奏時間約1時間半の大作である。初演は劇そのものの初演でもあり、4時間以上かかったという。これは大成功で、その後も上演を重ねた。《ペール・ギュント》はのちに組曲として4曲ずつがまとめられ、《第1番》は1888年に、《第2番》は1893年に出版された。1890年代には日本でも《第1番》のいくつかが演奏されていた。

第1曲〈朝〉は第4幕への前奏曲。舞台はアフリカだが、冒頭の五音音階のメロディはどこか親しみやすく、場所を超えて朝のすがすがしさが表現されていく。第2曲〈オーセの死〉は第3幕への前奏曲で、ペールの母オーセが臨終の床に就く場面でも演奏される厳粛な音楽。第3曲〈アニトラの踊り〉は、第4幕でアラブ部族首長のテントでアニトラが妖艶に踊る舞曲。第4曲〈山の王の宮殿で〉は、第2幕でペールがドヴレ山の年老いた王の広間に迷い込み、大勢のトルロルたちが騒然となり興奮する場面への導入で演奏される、グリーグのきわめて大胆な音楽である。

作曲年代	劇付随音楽《ペール・ギュント》(作品23)の作曲が1874~1875年、オーケストラのための《組曲第1番》用の改訂が1887~1888年
初演	1876年2月24日、クリスチャニア劇場(クリスチャニアは現在のオスロ)、ヨハン・ヘンヌム指揮
楽器編成	フルート2、ピッコロ1、オーボエ2、クラリネット2、ファゴット2、ホルン4、トランペット2、トロンボーン3、チューバ1、ティンパニ1、トライアングル、大太鼓、シンバル、弦楽

交響曲 第8番 ト長調 作品88

ドヴォルザークは生涯に9つの交響曲を書いた。成立年代は1865年から1893年と30年近くにわたる。これらは古典派やロマン派の伝統を基礎に、祖国の自然や文化の影響を受けながら独自の様式を生み出してきた。同じチェコの作曲家でも17歳年上のスメタナは、連作《わが祖国》のように標題を持つ交響詩やオペラに代表作が多いのに対して、ドヴォルザークの場合は幅広く取り組んだジャンルの中でも交響曲が重要で、ヨーロッパの交響曲史においても見逃すことのできない存在である。

《交響曲第8番》はドヴォルザークがチェコで書いた最後の交響曲で、彼の交響曲の中で最もチェコ的と言われることもある。その後の《第9番「新世界から」》はニューヨーク・ナショナル音楽院の院長を務めていたアメリカ滞在中に作曲され、アメリカ体験が盛り込まれた。

プラハの中心から南西へ約60kmのところ¹に位置するヴィソカーという村に、ドヴォルザークは1884年に別荘と庭を造った。幼少期を小さな村で過ごした彼はヴィソカーでの自然に囲まれた生活を大変気に入っていて、そこでは仕事もよくはかどった。《交響曲第8番》はそこで作曲された。彼は1889年8月26日に着手し、わずか1か月足らずという速さで全楽章をほとんど書き上げ、総譜はプラハに戻ってから11月8日に完成させた。その音楽はヴィソカーの風景を彷彿させるような陽気な気分と幸福感に満ちている。

第1楽章アレグロ・コン・ブリオは自由なソナタ形式で書かれている。ト長調楽章であるにもかかわらず哀愁漂うメロディで始まり、続いてフルートによる鳥の鳴き声のような明るい第1主題が登場する。第2楽章アダージョは、さまざまな情景が目に浮かぶような、ドヴォルザークの独創性が光る音楽。第3楽章アレグレット・グラチオーソは3拍子で舞曲のよう。中間部の主題は1874年作曲のオペラ《がんこ者たち》の中の歌から取られている。コーダではこのメロディの変形が活発な2拍子²で出てくる。第4楽章アレグロ・マ・ノン・トロppoは、ソナタ形式の原理を織り込んだ変奏曲で、ドヴォルザークの新しい試みが見られる。トランペットによるファンファーレのあとに登場するチェロの穏やかで優美な主題は、第1楽章の第1主題から導かれたものである。第2主題に相当するのは第5変奏でオーボエとクラリネットが奏する民族風のメロディ。熱を増しながら変奏が行われたのち、再び穏やかな主題が現れるとその変奏が続き、最後は急速なテンポのコーダで力強く締めくくられる。このような気分の移り変わりもまた作品を民族色豊かなもの³にしている。

作曲年代	1889年
初演	1890年2月2日、ルドルフィヌム(プラハ)、ドヴォルザーク指揮、国民劇場管弦楽団
楽器編成	フルート2(ピッコロ1)、オーボエ2(イングリッシュ・ホルン1)、クラリネット2、ファゴット2、ホルン4、トランペット2、トロンボーン3、テューバ1、ティンパニ1、弦楽

N響百年史

第二十二回—大正十四年の豪壮なるロシアン・ブラス

片山杜秀 — Morihide Katayama

二〇二六年のN響創立百周年に向け、NHK-FM「クラシックの迷宮」のパーソナリティとしてもお馴染みの思想史研究者で音楽評論家の片山杜秀さんが、時代背景とともにN響の歴史をひもときます。山田耕筰と近衛秀麿の悲願であった日露交響管絃楽演奏会、ついに開幕。NHKとオーケストラの出会い、まさにここにありました。

東京に“米ソ音楽対決”勃発

1925(大正14)年4月26日、松竹の経営する東京は木挽町の歌舞伎座で、日露交驩(交歓)交響管絃楽演奏会の幕が開いた。革命から逃れてハルビンに在住する白系と、ソ連にとどまり新国家の楽壇に貢献している赤系の、とりあえずロシア人と総称された西洋人の演奏者が合わせて33名。日本人の演奏者は38名とも39名とも。打楽器には、山田耕筰門下で、後に名歌《椰子の実》の作曲者と知られる大中寅二など、本職とは言えない人も入っているが、ともかく総勢70人以上の日露混成臨時大オーケストラによる4日連続の興行。曲目は毎日すべて異なる。初日のプログラムの記念すべき1曲目は、近衛秀麿指揮するベートーヴェンの《交響曲第5番》。そのあとは指揮が山田に交代し、ゴルトマルクの《序曲「シャクンタラ」》、山田の《交響曲「明治頌歌」》を経て、リムスキー・コルサコフの《交響組曲「シェエラザード」》で結ぶ。なんと長いプログラムだろう!

勸進元の松竹は宣伝に余念がなかった。4月2日に山田耕筰と、松竹を代表して興行をプロデュースする松居松翁が、ロシア人演奏家を呼びに東京からハルビンへと出発するところから、新聞雑誌に大々的に取材させた。イベントはそこから始まっていた。ハルビンからのオーケストラのメンバーの旅立ちは4月11日。13日には大連で、大連滞在中の後藤新平のために、山田の指揮で33名のロシア人だけによる特別演奏が行われる。後藤は、この催事の陰の主役であろう。言わば人形遣いだ。日ソ友好親善運動の中心人物で南満州鉄道(満鉄)の初代総裁。当時は社団法人東京放送局の初代総裁を務めている。すぐに日本放

送協会へと発展する団体だ。NHKと本格的な交響楽との出会いはこのときだったと言ってもよい。放送局がプロ・オーケストラの面倒を見ることになり、今日のNHK交響楽団につながってゆく下地は、山田と後藤^{じょうせい}の提携による日ソ親善文化工作の中で醸成されつつあった。

そして一行はついに来日。4月20日には著名人や報道関係者を招待しての、日露合同オーケストラの公開練習が行われる。そうした動静は大新聞によって逐次、記事化された。4月26日の帝都は、日露交驩交響管絃楽演奏会^{ふつとう}の話題沸騰。それはそうに違いない。歌舞伎座での興行は全体で見れば成功だった。でも初日や2日目はかなり空席もあったという。松竹の大宣伝にもかかわらず。

なぜだろうか。日比谷の帝国劇場が歌舞伎座に挑戦していた。帝国劇場は関東大震災で壊れていったん休場し、1924(大正13)年に再開場したばかり。タイミングを同じくして建て直された歌舞伎座を、当然ながらライヴァル視している。だいたい西洋音楽の興行では帝国劇場のほうが松竹よりもはるかに先行してきたのだ。何しろ帝国劇場を建てた中心人物は渋沢栄一。渋沢が幕末にパリに行ってオペラに親しんだことが、帝国劇場につながる。山田が、三菱財閥の岩崎^{いさづか}小彌太に導かれ、本来は鑑賞組織だった東京フィルハーモニー会の中にオーケストラを作ってもらい、公演していたのも、主には帝国劇場だった。長続きはしなかったけれど。とにかく帝国劇場としては新参者の松竹にお株を奪われたくない。大物の来日公演をぶつけてきた。アメリカを代表するコロラトウーラ・ソプラノ、メーベル・ギャリソンの連日のリサイタルである。彼女は当時まだ30代。メトロポリタン歌劇場で活躍し、モーツァルトの《魔笛》の夜の女王や、ドニゼッティの《ル

チア》の題名役を歌い、1925年にはちょうど世界ツアーの真っ最中だった。帝国劇場は、メーベルの公演日を日露交驩交響管絃楽演奏会^{かぶ}に被せた。日比谷にアメリカ、東銀座にソ連。1925年4月の東京は、米ソ音楽対決の場になった。

つまりは、ハイカラな聴衆の奪い合いである。たしかに大正時代は、富裕な市民層を育成し、西洋音楽を趣味とする人々も急増した。でも、高価なチケットを買って、複数の大劇場を連日同時に埋められる数があるかとなると、話は別である。たくさんと言っても高が知れている。何千人いるかいなか。メーベルのほうはピアノ伴奏の独唱会なので、歌舞伎座の大交響楽に比べれば注目度で劣り、どうも不入りで、彼女はがっかりしたらしい。けれど、歌舞伎座からそれなりに客を奪い、日露交驩交響管絃楽演奏会は連日満員御礼とは行かなくなった。その意味で帝劇は松竹に一矢報いたのである。

小松耕輔の見た 日露交驩交響管絃楽演奏会

さて、小松^{こうすけ}耕輔という音楽家がいた。山田耕筰より2歳年上の1884(明治17)年生まれ。東京音楽学校(現東京藝術大学音楽学部)に学び、学習院で教え、第1次世界大戦後の欧州に長期遊学し、パリではヴァイオリンやダンディに習い、関東大震災の起きる半年前に帰ってきた。彼は4月26日には歌舞伎座でなく、帝国劇場でギャリソンを聴いた。翌27日は日露交驩交響管絃楽演奏会の2日目に行った。批評を書いている。

小松はこう始める。「わが国の音楽界は長く眠っていた。二三の世界的楽人の来朝によって、時々ものうい^{まどろみ}徹睡から目を醒まされたとは

いえ、それは一時のことであった。嵐の去つたあとはまたもや、もとの惰眠に墮ちてしまった」。その眠りをついに破ろうとしたのは誰か。山田耕筰でも近衛秀麿でもない。帝国ホテルを拠点としたゲルシュコヴィチ指揮する東京シンフォニー・オーケストラであったと小松は言う。白系ロシア人を主体とし、日本人の選り抜きの奏者を加えて、大編成化の途上にあったこの交響楽団こそ、次元上昇の起爆剤になるはずであった。ところが「あの震災」で「仕事は全部中止の厄に遭つた」。小松は惜しむ。「これはわが楽界の大なる不幸といわねばならぬ」

小松は東京シンフォニー・オーケストラの実演を聴いている。1923(大正12)年5月のコンサートでの、ゲルシュコヴィチ指揮のリムスキー・コルサコフ《スペイン奇想曲》などは名演であったと回想する。「スペイン独特のリズム、豊富な色彩、錯綜した和音」を指揮者は「東洋的色調」において統一することに成功した。そう褒める。ただ大弱点があるとも言う。ホルンだ。西洋人がほぼ半数を占める東京シンフォニー・オーケストラでも、金管楽器には日本人が目立った。特に難物のホルンは日本人にはなかなか吹ききれない。「文明開化」から半世紀以上を経ても、トランペットやトロンボーンはまだしも、日本人のホルンは依然として圧倒的に下手なままだ。この改善は、帝国ホテルの財力によって西洋人奏者の雇用を促進することで果たされるかにも想像されたのだが、大震災ですべては無に帰した。小松の慨嘆である。

だが、日本の音楽界のポテンシャルは、もはや地震で挫けるようなものではなくなっていた。演奏する側も、鑑賞する側も、もはや昔日の比ではない勢いを帯びて、日々、厚みを増している。東京シンフォニー・オーケストラが挫折しても、そのまま諦めて眠らず、どうしてもまた起き出

してしまうくらいの精が付いている。その機を逃さず、帝国ホテルとゲルシュコヴィチの企ての続きをやるとうしているのが、山田と近衛と松竹である。小松の目に歴史はそう映っている。

そして小松は、山田の仕組みだ日露混成オーケストラの褒めるべきところを大々的に褒める。東京シンフォニー・オーケストラのように帝都に常設されるわけではない、臨時編成の東の間の交響楽団ではあるけれど、その登場は歴史を動かす快挙に違いない。「レコオドを通じて以外に一流オーケストラに接する機会」もほとんどなく、「オーケストラらしいオーケストラを残念ながら育ててこれなかつたわが楽壇」は、日露交驩交響管絃楽演奏会によって、「真のオーケストラが如何なるものであるかを知つた」。いかにすれば交響楽団をそれらしく響かせられるかがわかつた。目指すべき方向、学習すべき欠陥、発展のための正しい態度を理解した。大勢が本物を知り、しかもその本物らしい響きを聴くだけでなく、何十人かの日本人楽団員が参与し、同じ現場で席を並べ、共に音を鳴らして体感して目覚めを得たことで、この国の交響楽運動は飛躍的前進に向かって背中を押された。これは決定的な事態だ。そこにはむろん、日本人演奏家の潜在力がこれまでになく上がってきているという1925年ならではの情況が大きく絡む。総じてまだまだ下手なのだが、ロシア人演奏家にすぐ反応して、それなりにうまくなれるほどには技術も感性も高まり、意欲も上がっている。時代の潮をしっかりとつかまえた、山田と近衛と松竹の手柄である。

日本に初めて鳴り響いた 本物の金管のサウンド

小松は話を具体的にしてゆく。要するに、日

露交驩交響管絃楽演奏会のいちばんの^{いさお}勲しは、松竹がギャランティを^{はず}弾み、山田の連れてきたロシア人たちが、本当に名人揃^{ぞろ}이었다ことなのだ。東京シンフォニー・オーケストラにも上手な西洋人はいた。でも、今度の来朝メンバーとは物が違う。「ヴァイオリンのシフェルブラウト、ケーニヒ、セロのベッケル」。パリやベルリンの一流音楽家と比べて^{そんしよく}遜色ない。けれど、弦楽器は日本人でもまあまあ弾けないこともない。刺激の大きいのは、やはり管楽器だ。「オオボオのサルイチエフ、フルトのウエルホオフスキ」。日本の演奏家も鑑賞者も、交響楽の中に響くべき真の木管楽器の音色と技巧についに接した。とはいえ、日本人の息遣いと器用さなら、木管についてはまるで勝負にならないわけでもあるまい。結局、このたび日本人を心底驚倒させたのは金管楽器だ。「ホルンのラウエンドリエフ、トロンペットのゴルバチエンコ、トロンボンのポビイノフ」は「いずれも立派な演奏家である」。本当の金管の響きを思い知り、それあつての交響楽の体力と迫力ということを実感した。たとえ^{たいく}体軀の限界はあるにしても、本物を知ると知らぬとは大違い。その生きた見本をわれわれ日本人は、弾く者も聴く者も歌舞伎座で目の当たりにできた！この経験がなくて、われわれはどうして交響楽団の演奏能力を向上させられようか。日露交驩交響管絃楽演奏会の決定的な痛快事である。

小松の筆は^{おと}躍る。「わが国に^お於いては実に残念なことではあるが、本当に管楽器の音を出しうる奏者はまことに少なかった。わが国^このオーケストラの振^ゆえぬ所以は実にこの点にあつた。しかして^{このたび}此度、本当に管楽器の音を聴くことが出来たわけである。それと同時に、オーケストラには如何に管楽器は大事な役目をつとめるものであるかということも、わかつたことと思う」

いったい、小松はどんな曲のどんな演奏を聴きながら、こう思ったのか。日露交驩交響管絃楽演奏会の2日目は、山田の指揮によるチャイコフスキーの《交響曲第6番「悲愴」》で始まった。このコンサート・シリーズでは、山田が主にスラヴ系の楽曲、近衛が主にドイツ系の楽曲を分担する傾向があつたと言ってよい。小松の評はどうか。第2楽章と第4楽章は悪くないけれど、第1楽章の「後半は^お稍落ち着きを欠いて、とすれば楽器各部の統一を破つたのは惜しかつた」。第3楽章は「最もだれていた。この楽章が今少し洗練されておつたならば、全曲の効果を一層引き立てることができたであらう」。小松は、山田の指揮に以前よりも「落ち着き」と「楽員に対する統一的威力」のあることを認めてはいるが、あまり褒めてはいない。

2日目の後半は近衛の指揮。小松の批評態度は一変する。近衛の^お十八番であるマーラーの《交響曲第1番「巨人」》の第3楽章、あの葬送行進曲調の音楽も取り上げられたけれど、小松はもう絶賛だ。「最も成功したのはマアラアの交響曲である。楽器各部の間に多少の不統一があつたにせよ、曲の気分の最もよくあらわれたのはこの曲であつた。そして首尾一貫して明瞭にいわんとするところのものをいっている。成功というべきである」。ついで小松は、リストの《交響詩「レ・プレリュード」》もよい出来とする。対して、ワーグナーの《楽劇「ニュルンベルクのマイスタージンガー」》の第1幕への前奏曲と、リヒャルト・シュトラウスの《歌劇「ばらの騎士」》のワルツには辛い点を与えているが、「練習の不十分によつてこういう結果になつた」と推察されるとし、「短時日の練習としてはやむを得ない」と、近衛にたいへん同情する。そして、近衛の全体的評価にさらに字数を費やす。

「近衛氏の指揮は決してまだ完成したもの

ではない。しかし指揮者として多くの年月を有さなかつた氏としては、成功といわなければならぬ。氏の指揮には種々の欠点があるけれども、音楽に対して極めて鋭い感性と、楽曲に対する洞察力とを持つて居る。これが氏をして必ず立派な指揮者たらしむるであらう。私は氏の将来に多大な望みをかける」

小松は、先の引用部分を含めると、近衛に対し「成功」という言葉を3回も用いている。山田に対するととき、何たるトーンの違いであろうか。小松は、オーケストラの技術・能力と、指揮者の演奏解釈の二本立てで評をまとめているが、後者については、不惑を迎えようとする山田に冷淡で、20代半ばの近衛に将来の日本のオーケストラ運動を託したいかのような筆遣いである。この小松の文章が、このあとの歴史を指し示してもいるだろう。パイオニアとしての栄光と悲惨を十全に表現尽くした山田が、ようやくだいぶん肥えさせたオーケストラの畑で、果実の収穫を始めるのは、ケレンも世間にすっかり見抜かれてしまい、作曲にも相変わらず志があつて気の多く落ち着かない山田ではなく、指揮に格別の執着を持って加速度的に成長しつつある、若き近衛であるということ。小松の目には4月27日の歌舞伎座で、それが見えてしまったのである。

NHKとオーケストラ、ついに会合

小松は評の結びで、未来への^{げき}檄を飛ばす。

「若しこのたび来朝した楽人の中より優秀なる数人の音楽者をわが国に留め、これらの人々をリイダアとして、新たに一大管弦楽団を組織することが出来たならば、おそらく毎年国費十三万円を投じて音楽者の養成を計つてゐる音楽学校の事業よりも、より多くの貢献をわが音楽界のためにすることとなるであらう。単にこれは一大谷氏に向かつてのみいうのではない。広くわが国の好楽家に向かつて希望するのである」

「一大谷氏」とは松竹の経営者、大谷竹次郎のことだ。小松はできうれば、松竹がこのままスポンサーとなつて、外国人の助っ人を交えたプロフェッショナルな交響楽団を東京に誕生させることを願っているが、すでに前回眺めたように、松竹にそこまでの気はなかつた。日露交驩交響管絃楽演奏会はあくまで一時かぎりの興行であつた。そこで後藤新平を総裁とする社団法人東京放送局のいよいよ出番となる。国民の品性を陶冶するべきラジオ放送に、西洋クラシック音楽と本格的交響楽団がなくてよいはずはない！

文 | 片山杜秀 (かたやま もりひで)

思想史研究者、音楽評論家。慶應義塾大学法学部教授。2008年、『音盤考現学』『音盤博物誌』で吉田秀和賞、サントリー学芸賞を受賞。『クラシックの核心』『ゴジラと日の丸』『近代日本の右翼思想』『未完のファシズム』『見果てぬ日本』『尊皇攘夷』ほか著書多数。

次回予告

日露交驩交響管絃楽演奏会の前年の1924(大正13)年、現在のNHKの前身となる東京放送局が後藤新平を初代総裁として設立。いよいよNHKとオーケストラの関係が始まります！

11月定期公演の聴きどころ

公演企画担当者から

来年9月に首席指揮者となるファビオ・ルイーシ。就任発表時のインタビューでも述べたように、サヴァリッシュやスイトナーが育んだN響サウンドを大切にしながら、ドイツ音楽、中でも後期ロマン派のレパートリーをいっそう充実させていくことが、これからの大きな方針となる。その前哨戦とも言えるプログラムである。

**フランツ・シュミットのあふれ出る叙情性、
ゴージャスな響きを味わい尽くす**

[池袋Aプログラム]のフランツ・シュミットは、マーラーやR. シュトラウスの同時代人で、近年にわかに脚光を浴びつつある作曲家。再評価の先鞭をつけたルイーシはこの先、N響とともに彼の作品を継続的に取り上げていく。《交響曲第2番》は、バッハの器楽曲に似た冒頭主題、ブラームスを思わせる変奏曲形式などにドイツ音楽の伝統が刻印されている。他方、機能と声とを極限まで生かしたゴージャスな響き、あふれ出る叙情性は後期ロマ

ン派芸術そのもの。深まりゆく秋、たそがれのウィーンの残照を味わい尽くしたい。

シュミット生誕のおよそ半世紀前、その生地プレスブルク(現・プラチスラヴァ)を9歳の神童リストが訪れ、ピアノの公開演奏で話題をさらった。《ピアノ協奏曲第2番》は、時代の寵児が10代で着手し、長年にわたり改訂を重ねた労作。苦心の末に達成された“超絶技巧と優美の共存”は、アレクサンドロ・タヴェルナの持ち味そのものでもある。

ウェーバー《「魔弾の射手」序曲》は、歌劇場でキャリアを築いたルイーシならではの選曲。小品演奏の無類の巧みさは、前回の《「オリアンテ」序曲》で実証されている。

**鮮やかな色彩に満ちた
チャイコフスキー《交響曲第5番》**

リストに先んじ、超絶技巧で19世紀前半のヨーロッパを席捲したのがヴァイオリンのパガニーニ。[Bプログラム]の《ヴァイオリン協奏曲第1番》に見られる、広い音域を高速で駆け巡

る3度のダブルストップや2重ハーモニクスは、当時の聴衆の度肝を抜いたことだろう。フランチェスカ・デゴは、タヴェルナ同様イタリアの若手で、今回の共演はルイーゼの推薦による。2人のソリストに共通するのは、技巧性が際立つ難曲を苦もなく弾きこなしながら、あくまで歌心やエレガンスを失わないところ。ルイーゼの目指す音楽の方向性を示唆している。

後半はチャイコフスキーの《交響曲第5番》。誰もが知る名曲を、銜てらいもなくプログラムに取り入れるのが、ルイーゼの特徴のひとつである。クライマックスも通俗に墮すことなく、どこまでもサラリと品のよい運びは一流の証。それでいてイタリアらしい鮮やかな色彩感が随所に顔を出す。

ひとつひとつのフレーズを丁寧に歌い込むルイーゼのブルックナー

[池袋Cプログラム]はブルックナーの《交響曲第4番》。ブルックナーもまた、今後のレパートリーの柱となるだろう。この先は《第2番》、《第8番》などが続く予定。悠揚迫らざるテンポを取りつつも、決して間延びせず、全体の構造がクリアに見通せる点、レガートを多用して、ひとつひとつのフレーズを丁寧に歌いこんでいく点、楽器どうしの絶妙な音量バランス……。こうした特徴を併せ持つルイーゼのブルックナーは、激烈さや破天荒さと無縁ながら、強い説得力をもって私たちの胸に響いてくる。N響の演奏史に刻まれる名演が期待できよう。

[西川彰一／NHK交響楽団演奏制作部長]

※mélomane：フランス語で「音楽愛好家」の意

池袋
A
11/13 土 6:00pm
11/14 日 2:00pm

東京芸術劇場

ウェーバー／歌劇「魔弾の射手」序曲
リスト／ピアノ協奏曲 第2番 イ長調
フランツ・シュミット／交響曲 第2番 変ホ長調
指揮：ファビオ・ルイーゼ
ピアノ：アレクサンドロ・タヴェルナ



B
11/24 水 7:00pm
11/25 木 7:00pm

サントリーホール

パガニーニ／ヴァイオリン協奏曲 第1番 二長調 作品6
チャイコフスキー／交響曲 第5番 ホ短調 作品64
指揮：ファビオ・ルイーゼ
ヴァイオリン：フランチェスカ・デゴ



池袋
C
11/18 木 7:30pm*
11/19 金 7:30pm

東京芸術劇場

ブルックナー／交響曲 第4番 変ホ長調「ロマンチック」
指揮：ファビオ・ルイーゼ



★通常土曜日の公演(池袋C-2)を木曜7:30pmに開催します

チケットのご案内(定期公演 2021年9月～2022年6月)

1回券

公演ごとにチケットをお買い求めいただけます。料金は公演によって異なります。各公演の情報をご覧ください。

発売開始日 [11:00amからの受付]	10月	発売中
	11月	9月4日[水](会員)／9月9日[月・休](一般) 発売延期(新たな発売日は10月末に発表予定)
	12・1・2月	10月26日[火](会員)／10月31日[日](一般) 発売延期(新たな発売日は11月上旬に発表予定)
	4・5・6月	3月2日[水](会員)／3月6日[日](一般)

※今後の状況によっては発売日が変わる場合があります

定期会員券

毎回同じ座席をご用意。1回券と比べて1公演あたり10～30%お得です！(割引率は公演や券種によって異なります)

※ Aプログラム、CプログラムはNHKホール改修工事に伴い、会場をNHKホールから東京芸術劇場(池袋)に移して「池袋Aプログラム」「池袋Cプログラム」として行います

※ Bプログラムはサントリーホール改修工事に伴い、2022年4月公演を休止するため全8回となります。シーズン会員券の販売はございません

※ 池袋Cプログラムは2021～22シーズンから会員券の料金を変更させていただきます

発売開始日 [11:00amからの受付]	年間会員券、シーズン会員券(Autumn)	販売終了
	シーズン会員券(Winter)	10月15日[金](会員)／10月21日[木](一般)
	シーズン会員券(Spring)	2月22日[火](会員)／2月25日[金](一般)

※今後の状況によっては発売日が変わる場合があります

料金(税込)

券種	S	A	B	C	D	D(ユースチケット)
年間会員券(9回) [池袋A]	¥65,970 (¥7,330)	¥56,610 (¥6,290)	¥44,010 (¥4,890)	¥35,730 (¥3,970)	¥27,540 (¥3,060)	¥9,000 (¥1,000)
年間会員券(8回) [B]	¥58,640 (¥7,330)	¥50,320 (¥6,290)	¥39,120 (¥4,890)	¥31,760 (¥3,970)	¥24,480 (¥3,060)	¥8,000 (¥1,000)
年間会員券(9回) [池袋C]	¥56,610 (¥6,290)	¥49,725 (¥5,525)	¥39,780 (¥4,420)	¥32,130 (¥3,570)	¥24,480 (¥2,720)	¥8,820 (¥980)

券種	S	A	B	C	D	D(ユースチケット)
シーズン会員券(3回) [池袋A]	¥23,820 (¥7,940)	¥19,860 (¥6,620)	¥15,570 (¥5,190)	¥12,540 (¥4,180)	¥9,480 (¥3,160)	¥3,900 (¥1,300)
シーズン会員券(3回) [池袋C]	¥19,890 (¥6,630)	¥17,520 (¥5,840)	¥14,010 (¥4,670)	¥11,250 (¥3,750)	¥8,550 (¥2,850)	¥3,780 (¥1,260)

※()内は1公演あたりの単価

WEBセレクト3+

好きな公演を3つ以上セレクトすると、1回券がお得になります。Autumn(9～11月)、Winter(12～2月)、Spring(4～6月)の各シーズン内の公演(9プログラム18公演)のうち、3公演以上まとめて購入すると、1回券の一般料金より約8%割引いた

します。座席・券種は自由にお選びいただけます。

※ WEBチケットN響のみでの販売となります

※ 1回券発売日からお申し込みいただけます

(なお、AUTUMNシーズンの1回券を同時に発売できなくなったことを受け、同期間の「WEBセレクト3+」の販売を休止します)

ユースチケット

25歳以下の方へのお得なチケットです。1回券と定期会員券(D席)でご利用いただけます。料金は各公演の情報をご覧ください。

※ N響ガイドのみの販売となります

※ 25歳以下の証明となるものをご提示いただきます

お問い合わせ

N響ガイド | TEL 03-5793-8161

営業時間：11:00am～5:00pm

定休日：土・日・祝日、定期公演池袋Aプログラムの翌月曜

● 主催公演開催日は曜日に関わらず11:00am～開演時刻まで営業

● 発売初日の土・日・祝日は11:00am～3:00pmの営業

● 感染症予防対策のため電話受付のみの営業

WEBチケットN響(手数料無料) <https://ticket.nhks.or.jp>

Please follow us on



2021-22定期公演プログラム

2021 10	池袋 A	第1939回	戦争の傷跡が滲むニルセンの問題作をブロムシュテットが振る ブラムス／ヴァイオリン協奏曲 二長調 作品77 ニルセン／交響曲 第5番 作品50	一般 ユース S ¥9,800 S ¥5,800 A ¥8,400 A ¥4,800 B ¥6,700 B ¥3,800 C ¥5,400 C ¥2,800 D ¥4,400 D ¥1,800
		10/16(土) 6:00pm 10/17(日) 2:00pm	指揮：ヘルベルト・ブロムシュテット ヴァイオリン：レオニダス・カヴァコス	
		東京芸術劇場 コンサートホール		
B	第1941回	ブロムシュテットが慈しんで奏でる母国スウェーデンの傑作と《運命》 ステンハンマル／セレナード へ長調 作品31 ベートーヴェン／交響曲 第5番 八短調 作品67	一般 ユース S ¥9,800 S ¥5,800 A ¥8,400 A ¥4,800 B ¥6,700 B ¥3,800 C ¥5,400 C ¥2,800 D ¥4,400 D ¥1,800	
	10/27(水) 7:00pm 10/28(木) 7:00pm	指揮：ヘルベルト・ブロムシュテット		
	サントリーホール			
池袋 C	第1940回	巨匠が愛情をこめて奏でるグリーグとドヴォルザークの名作 グリーグ／「ペール・ギュント」組曲 第1番 作品46 ドヴォルザーク／交響曲 第8番 十長調 作品88	一般 ユース S ¥7,400 S ¥4,500 A ¥6,500 A ¥4,000 B ¥5,200 B ¥3,000 C ¥4,200 C ¥2,000 D ¥3,200 D ¥1,400	
	10/22(金) 7:30pm 10/23(土) 2:00pm	指揮：ヘルベルト・ブロムシュテット		
	東京芸術劇場 コンサートホール			
2021 11	池袋 A	第1942回	音楽の都、ウィーンの伝統の結晶! フランツ・シュミットの《交響曲第2番》 ウェーバー／歌劇「魔弾の射手」序曲 リスト／ピアノ協奏曲 第2番 イ長調 フランツ・シュミット／交響曲 第2番 変ホ長調	一般 ユース S ¥9,800 S ¥5,800 A ¥8,400 A ¥4,800 B ¥6,700 B ¥3,800 C ¥5,400 C ¥2,800 D ¥4,400 D ¥1,800
		11/13(土) 6:00pm 11/14(日) 2:00pm	指揮：ファビオ・ルイージ ピアノ：アレクサンドロ・タヴェルナ	
		東京芸術劇場 コンサートホール		
B	第1944回	ルイージの十八番、チャイコフスキー《交響曲第5番》を堪能する パガニーニ／ヴァイオリン協奏曲 第1番 二長調 作品6 チャイコフスキー／交響曲 第5番 ホ短調 作品64	一般 ユース S ¥9,800 S ¥5,800 A ¥8,400 A ¥4,800 B ¥6,700 B ¥3,800 C ¥5,400 C ¥2,800 D ¥4,400 D ¥1,800	
	11/24(水) 7:00pm 11/25(木) 7:00pm	指揮：ファビオ・ルイージ ヴァイオリン：フランチェスカ・デゴ		
	サントリーホール			
池袋 C	第1943回	ブルクナーに情熱を捧げるルイージの《交響曲第4番「ロマンチック」》 ブルクナー／交響曲 第4番 変ホ長調「ロマンチック」	一般 ユース S ¥7,400 S ¥4,500 A ¥6,500 A ¥4,000 B ¥5,200 B ¥3,000 C ¥4,200 C ¥2,000 D ¥3,200 D ¥1,400	
	11/18(木) 7:30pm* 11/19(金) 7:30pm	指揮：ファビオ・ルイージ ★通常土曜日の公演(池袋C-2)を木曜7:30pmに開催します		
	東京芸術劇場 コンサートホール			
2021 12	池袋 A	第1945回	男女の心の綾を精妙に描くシェーンベルク初期の傑作を聴く ブラムス／ハイドンの主題による変奏曲 作品56a R. シュトラウス／4つの最後の歌 シェーンベルク／浄められた夜 作品4	一般 ユース S ¥8,900 S ¥5,500 A ¥7,400 A ¥4,500 B ¥5,800 B ¥3,500 C ¥4,700 C ¥2,500 D ¥3,700 D ¥1,500
		12/4(土) 6:00pm 12/5(日) 2:00pm	指揮：山田和樹 ソプラノ：佐々木典子	
		東京芸術劇場 コンサートホール		
B	第1947回	期待の俊英指揮者によるドイツ・オーストリア音楽を俯瞰するプログラム ハイドン／交響曲 第22番 変ホ長調 Hob. I-22「哲学者」 HK グルーバー／エアリアル[日本初演]* R. シュトラウス／交響詩「ツァラトゥストラはこう語った」作品30	一般 ユース S ¥8,900 S ¥5,500 A ¥7,400 A ¥4,500 B ¥5,800 B ¥3,500 C ¥4,700 C ¥2,500 D ¥3,700 D ¥1,500	
	12/15(水) 7:00pm 12/16(木) 7:00pm	指揮：ディマ・スロボドニェウク トランペット：ホーカン・ハーデンベルガー*		
	サントリーホール			
池袋 C	第1946回	飛躍を遂げたロシアの気鋭が10年ぶりにN響の指揮台に立つ チャイコフスキー／ロココ風の主題による変奏曲 作品33* ムソルグスキー(ラヴェル編)／組曲「展覧会の絵」	一般 ユース S ¥7,400 S ¥4,500 A ¥6,500 A ¥4,000 B ¥5,200 B ¥3,000 C ¥4,200 C ¥2,000 D ¥3,200 D ¥1,400	
	12/10(金) 7:30pm 12/11(土) 2:00pm	指揮：ワシーリ・ペトレンコ チェロ：ダニエル・ミユラー・ショット*		
	東京芸術劇場 コンサートホール			

池袋 東京芸術劇場 コンサートホール		B サントリーホール		池袋 東京芸術劇場 コンサートホール	
A	開場5:00pm 開演6:00pm 開場1:00pm 開演2:00pm	B	開場6:20pm 開演7:00pm 開場6:20pm 開演7:00pm	C	開場6:30pm 開演7:30pm 開場1:00pm 開演2:00pm
2022 01	池袋 A	第1948回 1/15(土) 6:00pm 1/16(日) 2:00pm 東京芸術劇場 コンサートホール	原田慶太楼と反田恭平が捧げるポーランド、バリへのオマージュ ショパン(ガラスフ編)/軍隊ポロネーズ イ長調 作品40-1(管弦楽版) ショパン(ストラヴィンスキー編)/夜想曲 変イ長調 作品32-2(管弦楽版) パデレフスキ/ポーランド幻想曲 作品19* ストラヴィンスキー/バレエ音楽「火の鳥」(1910年版) 指揮:原田慶太楼 ピアノ:反田恭平*	一般 ユース S ¥8,900 S ¥5,500 A ¥7,400 A ¥4,500 B ¥5,800 B ¥3,500 C ¥4,700 C ¥2,500 D ¥3,700 D ¥1,500	
	B	第1950回 1/26(水) 7:00pm 1/27(木) 7:00pm サントリーホール	色彩の魔術師・ソヒエフがセレクトするプロコフィエフの煌めく名品 プロコフィエフ/歌劇「戦争と平和」―「ワルツ」 プロコフィエフ/ピアノ協奏曲 第3番 八長調 作品26 プロコフィエフ/交響曲 第5番 変ロ長調 作品100 指揮:トゥガン・ソヒエフ ピアノ:ハオチエン・チャン	一般 ユース S ¥8,900 S ¥5,500 A ¥7,400 A ¥4,500 B ¥5,800 B ¥3,500 C ¥4,700 C ¥2,500 D ¥3,700 D ¥1,500	
	池袋 C	第1949回 1/21(金) 7:30pm 1/22(土) 2:00pm 東京芸術劇場 コンサートホール	濃密なロマンの香りを放つソヒエフのブラームス ブルッフ/ヴァイオリン協奏曲 第1番 短調 作品26 ブラームス/交響曲 第3番 へ長調 作品90 指揮:トゥガン・ソヒエフ ヴァイオリン:ワディム・グルズマン	一般 ユース S ¥7,400 S ¥4,500 A ¥6,500 A ¥4,000 B ¥5,200 B ¥3,000 C ¥4,200 C ¥2,000 D ¥3,200 D ¥1,400	
2022 02	池袋 A	第1951回 2/5(土) 6:00pm 2/6(日) 2:00pm 東京芸術劇場 コンサートホール	パーヴォ・ヤルヴィ、レヴィットと究めるドイツ・ロマン主義の精髓 ブラームス/ピアノ協奏曲 第2番 変ロ長調 作品83 シューマン/交響曲 第2番 八長調 作品61 指揮:パーヴォ・ヤルヴィ ピアノ:イゴール・レヴィット	一般 ユース S ¥9,800 S ¥5,800 A ¥8,400 A ¥4,800 B ¥6,700 B ¥3,800 C ¥5,400 C ¥2,800 D ¥4,400 D ¥1,800	
	B	第1953回 2/16(水) 7:00pm 2/17(木) 7:00pm サントリーホール	パーヴォ・ヤルヴィ&ハーンのイギリス&アメリカ・プログラム ブリテン/歌劇「ピーター・グラ임ズ」―4つの海の間奏曲 作品33a パーバー/ヴァイオリン協奏曲 作品14 エルガー/変奏曲「謎」作品36 指揮:パーヴォ・ヤルヴィ ヴァイオリン:ヒラリー・ハーン	一般 ユース S ¥9,800 S ¥5,800 A ¥8,400 A ¥4,800 B ¥6,700 B ¥3,800 C ¥5,400 C ¥2,800 D ¥4,400 D ¥1,800	
	池袋 C	第1952回 2/11(金)祝 7:30pm 2/12(土) 2:00pm 東京芸術劇場 コンサートホール	パーヴォ・ヤルヴィ&N響が大管弦楽で描くアルプスの壮大なパノラマ R.シュトラウス/バレエ音楽「ヨセフの伝説」から交響的断章 R.シュトラウス/アルプス交響曲 作品64 指揮:パーヴォ・ヤルヴィ	一般 ユース S ¥7,400 S ¥4,500 A ¥6,500 A ¥4,000 B ¥5,200 B ¥3,000 C ¥4,200 C ¥2,000 D ¥3,200 D ¥1,400	
2022 04	池袋 A	第1954回 4/9(土) 6:00pm 4/10(日) 2:00pm 東京芸術劇場 コンサートホール	ドイツ最高峰の巨匠と紡ぐベートーヴェンの「舞踏交響曲」 ドヴォルザーク/序曲「謝肉祭」作品92 モーツァルト/フルート協奏曲 第1番 長調 K. 313 ベートーヴェン/交響曲 第7番 イ長調 作品92 指揮:クリストフ・エッセンバッハ フルード:スタティス・カラバノス	一般 ユース S ¥9,800 S ¥5,800 A ¥8,400 A ¥4,800 B ¥6,700 B ¥3,800 C ¥5,400 C ¥2,800 D ¥4,400 D ¥1,800	
	B	サントリーホールの改修工事に伴い、4月定期公演Bプログラムの開催を休止します。			
	池袋 C	第1955回 4/15(金) 7:30pm 4/16(土) 2:00pm 東京芸術劇場 コンサートホール	孤高の巨匠が迫るマーラーの本質——エッセンバッハの《交響曲第5番》 マーラー/交響曲 第5番 嬰ハ短調 指揮:クリストフ・エッセンバッハ	一般 ユース S ¥7,400 S ¥4,500 A ¥6,500 A ¥4,000 B ¥5,200 B ¥3,000 C ¥4,200 C ¥2,000 D ¥3,200 D ¥1,400	

2022 05	池袋 A	第1956回	こだわりの名匠と一から再構築するシューベルトの巨大な音楽遺産	一般	ユース
		5/14 土 6:00pm	シューマン／ヴァイオリン協奏曲 二短調	S ¥8,900	S ¥5,500
	5/15 日 2:00pm	シューベルト／交響曲 第8番 八長調 D. 944「ザ・グレート」	A ¥7,400	A ¥4,500	
		東京芸術劇場 コンサートホール	指揮：マレク・ヤノフスキ ヴァイオリン：アリョーナ・パーエフ	B ¥5,800	B ¥3,500
				C ¥4,700	C ¥2,500
				D ¥3,700	D ¥1,500
	B	第1958回	名キャプテンルイーゼと大海原を音楽で航海する	一般	ユース
5/25 水 7:00pm		メンデルスゾーン／序曲「静かな海と楽しい航海」作品27	S ¥9,800	S ¥5,800	
5/26 木 7:00pm	ラヴェル／ピアノ協奏曲 卜長調	A ¥8,400	A ¥4,800		
		リムスキー＝コルサコフ／交響組曲「シェラザード」作品35	B ¥6,700	B ¥3,800	
		サントリーホール	指揮：ファビオ・ルイーゼ ピアノ：小菅 優	C ¥5,400	C ¥2,800
				D ¥4,400	D ¥1,800
	池袋 C	第1957回	ルイーゼと丹念に磨き込むウィーン古典派の名品	一般	ユース
5/20 金 7:30pm		モーツァルト／歌劇「ドン・ジョヴァンニ」序曲	S ¥7,400	S ¥4,500	
5/21 土 2:00pm	モーツァルト／ピアノ協奏曲 第20番 二短調 K. 466	A ¥6,500	A ¥4,000		
		ベートーヴェン／交響曲 第8番 へ長調 作品93	B ¥5,200	B ¥3,000	
		東京芸術劇場 コンサートホール	指揮：ファビオ・ルイーゼ ピアノ：アレクサンドル・メルニコフ	C ¥4,200	C ¥2,000
				D ¥3,200	D ¥1,400
2022 06	池袋 A	第1959回	フランス音楽と文学の幸せなリアージュ その耽美的な世界に身を委ねる	一般	ユース
		6/11 土 6:00pm	デュカス／バレエ音楽「ヘリ」(ファンファーレつき)	S ¥8,900	S ¥5,500
	6/12 日 2:00pm	ラヴェル／シェラザード*	A ¥7,400	A ¥4,500	
		東京芸術劇場 コンサートホール	ドビュッシー／牧神の午後への前奏曲	B ¥5,800	B ¥3,500
			フロラン・シュミット／バレエ組曲「サロメの悲劇」作品50	C ¥4,700	C ¥2,500
			指揮：ステファヌ・ドゥナーヴ ユー・ソプラノ：ステファニー・ドゥストラク*	D ¥3,700	D ¥1,500
	B	第1961回	しなやかに、颯爽と！鈴木優人のモーツァルト〈ジュピター〉	一般	ユース
6/22 水 7:00pm		パッサカリア(鈴木優人編)／パッサカリアとフーガ 八長調 BWV582	S ¥8,900	S ¥5,500	
6/23 木 7:00pm	ブリテン／ヴァイオリン協奏曲 作品15	A ¥7,400	A ¥4,500		
		モーツァルト／交響曲 第41番 八長調 K. 551「ジュピター」	B ¥5,800	B ¥3,500	
		サントリーホール	指揮：鈴木優人 ヴァイオリン：郷古 廉	C ¥4,700	C ¥2,500
				D ¥3,700	D ¥1,500
	池袋 C	第1960回	仏米2人の作曲家が伝える1920～30年代 バリの息吹	一般	ユース
6/17 金 7:30pm		プーランク／バレエ組曲「牝鹿」	S ¥7,400	S ¥4,500	
6/18 土 2:00pm	プーランク／オルガン協奏曲 卜短調	A ¥6,500	A ¥4,000		
		東京芸術劇場 コンサートホール	ガーシュウィン／バリのアメリカ人	B ¥5,200	B ¥3,000
			指揮：ステファヌ・ドゥナーヴ オルガン：オリヴィエ・ラトリ	C ¥4,200	C ¥2,000
				D ¥3,200	D ¥1,400

(料金はすべて税込)

※今後の状況によっては、出演者や曲目等が変更になる場合や、公演が中止となる場合があります。あらかじめご了承ください。

各地の公演

10/30(日) 2:00pm | NHK交響楽団&ヘルベルト・ブロムシュテット[指揮]《運命》

所沢市民文化センター ミューズ アークホール

指揮:ヘルベルト・ブロムシュテット

ステンハンマル/セレナード へ長調 作品31

ベートーヴェン/交響曲 第5番 ハ短調 作品67

主催:(公財)所沢市文化振興事業団

お問合せ:ミュージケットカウンター TEL (04) 2998-7777

11/2(火) 7:00pm | 第178回 NTT東日本N響コンサート

東京オペラシティ コンサートホール

指揮:尾高忠明 ピアノ:清水和音

ラフマニノフ/ピアノ協奏曲 第2番 ハ短調 作品18

チャイコフスキー/交響曲 第6番 口短調 作品74「悲愴」

主催:NTT東日本

お問合せ:NHKプロモーション TEL (03) 5790-6423(毎週月曜日 11:00am~5:00pm)

11/3(水祝) 2:30pm | NHK交響楽団 厚木公演

厚木市文化会館 大ホール

出演者・曲目は11月2日と同じ

主催:(公財)厚木市文化振興財団

お問合せ:厚木市文化会館チケット予約センター TEL (046) 224-9999

11/8(月) 7:00pm | NHK音楽祭2021~未来へ~

Bunkamura オーチャードホール

指揮:尾高忠明 ピアノ:「第18回シヨバン国際ピアノコンクール」最高位

シヨバン/ピアノ協奏曲 第1番 ホ短調 作品11 または 第2番 へ短調 作品21

ショスタコーヴィチ/交響曲 第5番 二短調 作品47

主催:NHK/NHKプロモーション

共催:NHK交響楽団

お問合せ:ハローダイヤル TEL (050) 5541-8600

11/27(日) 4:00pm | NHK交響楽団演奏会 大阪公演

NHK大阪ホール

指揮:ファビオ・ルイーヂ ヴァイオリン:フランチェスカ・デゴ
バガニーニ/ヴァイオリン協奏曲 第1番 二長調 作品6
チャイコフスキー/交響曲 第5番 ホ短調 作品64

主催:NHK大阪放送局/NHK交響楽団
お問合せ:NHK大阪ホールNHKイベントガイド TEL (06) 6947-5000

11/28(日) 3:00pm | NHK交響楽団定期演奏会 (愛知県芸術劇場シリーズ)

愛知県芸術劇場 コンサートホール

出演者・曲目は11月27日と同じ

主催:愛知県芸術劇場/NHK名古屋放送局
お問合せ:愛知県芸術劇場 TEL (052) 211-7552

1/10(月祝) 2:00pm | 2022サンシティ・ニューイヤーコンサート NHK交響楽団

サンシティ越谷市民ホール

指揮:ケリー・リン・ウィルソン ソプラノ:森 麻季
ヨハン・シュトラウスⅡ世/皇帝円舞曲 作品437
ヨハン・シュトラウスⅡ世/ボルカ「雷鳴と電光」作品324
ヨハン・シュトラウスⅡ世/トリッチ・トラッチ・ボルカ 作品214
ヨハン・シュトラウスⅡ世/ワルツ「美しく青きドナウ」作品314
マーラー/交響曲 第4番ト長調

主催:(公財)越谷市施設管理公社
お問合せ:越谷コミュニティセンター TEL (048) 985-1112

2/26(土) 3:00pm | NHK交響楽団 長岡特別演奏会

長岡市立劇場

指揮:高関 健 ヴァイオリン:南 紫音
チャイコフスキー/ヴァイオリン協奏曲 二長調 作品35
ブラームス/交響曲 第1番 ハ短調 作品68

主催:(公財)長岡市芸術文化振興財団
お問合せ:(公財)長岡市芸術文化振興財団 事業課(長岡リリックホール内)TEL (0258) 29-7715

3/13(日) 5:00pm | N響姫路公演

アクリエひめじ(姫路市文化コンベンションセンター)大ホール

指揮:原田慶太楼 ピアノ:小曾根 真*
バーンスタイン(メーソン編)/「ウエスト・サイド・ストーリー」セレクション
ガーシュウィン/ラプソディ・イン・ブルー*
ロジャース&ハマースタインⅡ/サウンド・オブ・ミュージック
ガーシュウィン(ベネット編)/「ポーギーとベス」交響的絵画

主催:(公財)姫路市文化国際交流財団
お問合せ:(公財)姫路市文化国際交流財団 制作チーム TEL (079) 298-8015

オーチャード定期

Bunkamura オーチャードホール

1/8(土) 3:30pm

指揮:ケリー・リン・ウィルソン ソプラノ:森 麻季

ヨハン・シュトラウスⅡ世 / 皇帝円舞曲 作品437

ヨハン・シュトラウスⅡ世 / ボルカ「雷鳴と電光」 作品324

ヨハン・シュトラウスⅡ世 / トリッチ・トラッチ・ボルカ 作品214

ヨハン・シュトラウスⅡ世 / ワルツ「美しく青きドナウ」 作品314

マーラー / 交響曲 第4番 長調

3/12(土) 3:30pm

指揮:原田慶太楼 ピアノ:小曾根 真*

バーンスタイン(メーソン編) / 「ウエスト・サイド・ストーリー」セレクション

ガーシュウィン / ラブソディ・イン・ブルー*

ロジャース&ハマースタインⅡ / サウンド・オブ・ミュージック

ガーシュウィン(ベネット編) / 「ポーギーとベス」交響的絵画

主催・お問合せ: Bunkamura TEL (03) 3477-3244

NHK交響楽団

首席指揮者：パーヴォ・ヤルヴィ

名誉音楽監督：シャルル・デュトワ

桂冠名誉指揮者：ヘルベルト・ブロムシュテット

桂冠指揮者：ウラディーミール・アシケナージ

正指揮者：外山雄三、尾高忠明

第1コンサートマスター：篠崎史紀

コンサートマスター：伊藤亮太郎

ゲスト・コンサートマスター：白井圭

第1ヴァイオリン

青木 調
字根京子
大鹿由希
倉富亮太
後藤 康
小林玉紀
高井敏弘
猶井悠樹
中村弓子
降旗貴雄
○松田拓之
宮川奈々
○森田昌弘
○山岸 努
□横島礼理
○横溝耕一

第2ヴァイオリン

○大林修子
○大宮臨太郎
木全利行
齋藤麻衣子
嶋田慶子
○白井 篤
○田中晶子
坪井きらら
丹羽洋輔
平野一彦
船木陽子
俣野賢仁
○三又治彦
矢津将也
山田慶一

横山俊朗
米田有花

村尾隆人

ヴィオラ

◎佐々木 亮
◎村上淳一郎
☆中村翔太郎
小野 聡
小島茂隆
□坂口弦太郎
谷口真弓
飛澤浩人
○中村洋乃理
松井直之
三国レイチェル由依
御法川雄矢
○村松 龍
山田雄司

チェロ

◎辻本 玲
◎藤森亮一
市 寛也
小島幸法
三戸正秀
中 実穂
○西山健一
○藤村俊介
宮坂拓志
村井 将
○山内俊輔
渡邊房子

コントラバス

◎吉田 秀
☆市川雅典
☆西山真二
稻川永示
○岡本 潤
今野 京
佐川裕昭
本間達朗
矢内陽子

フルート

◎甲斐雅之
◎神田寛明
梶川真步
菅原 潤
中村淳二

オーボエ

◎青山聖樹
◎吉村結実
池田昭子
坪池泉美
和久井 仁

クラリネット

◎伊藤 圭
◎松本健司
山根孝司

ファゴット

◎宇賀神広宣
◎水谷上総
佐藤由起
菅原恵子
森田 格

ホルン

◎今井仁志
◎福川伸陽
石山直城
勝俣 泰
木川博史
野見山和子

トランペット

◎菊本和昭
◎長谷川智之
安藤友樹
山本英司

トロンボーン

◎古賀 光
◎新田幹男
池上 亘
黒金寛行
吉川武典

テューバ

池田幸広

ティンパニ

◎植松 透
◎久保昌一

打楽器

石川達也
黒田英実
竹島悟史

ハープ

早川りさこ

ステージ・マネージャー

徳永匡哉
黒川大亮

ライブラリアン

沖 あかね
木村英代

(五十音順、◎首席、☆首席代行、○次席、□次席代行、#インスペクター)

特別支援・特別協力・賛助会員

Corporate Membership

特別支援

岩谷産業株式会社	代表取締役社長 間島 寛
三菱地所株式会社	執行役社長 吉田 淳一
株式会社 みずほ銀行	頭取 藤原弘治
公益財団法人 渋谷育英会	理事長 小丸成洋

特別協力

BMW ジャパン	代表取締役社長 Christian Wiedmann
全日本空輸株式会社	代表取締役社長 平子裕志
ヤマハ株式会社	代表執行役社長 中田卓也
株式会社 パレスホテル	代表取締役社長 吉原大介

賛助会員

・ 常陸宮	・ イーソリューションズ(株) 代表取締役社長 佐々木経世	・ SCSK(株) 代表取締役 執行役員 社長 最高執行責任者 谷原 徹
・ (株)アートレイ 代表取締役 小森活美	・ EY新日本有限責任監査法人 理事長 片倉正美	・ (株)NHK アート 代表取締役社長 小野木昌史
・ (株)アイシン 取締役社長 吉田守孝	・ 池上通信機(株) 代表取締役社長 清森洋祐	・ (一財)NHK インターナショナル 理事長 黄木紀之
・ 葵設備工事(株) 代表取締役社長 安藤正明	・ 伊東国際特許事務所 会長 伊東忠彦	・ NHK 営業サービス(株) 代表取締役社長 山田哲生
・ アサヒグループホールディングス(株) 代表取締役社長兼CEO 勝木敦志	・ 井村屋グループ(株) 代表取締役会長 浅田剛夫	・ (株)NHK エデュケーションナル 代表取締役社長 田波宏視
・ (株)朝日工業社 代表取締役社長 高須康有	・ (株)インターネットイニシアティブ 代表取締役会長 鈴木幸一	・ (一財)NHK エンジニアリングシステム 理事長 黄木紀之
・ 朝日信用金庫 理事長 伊藤康博	・ (株)ウイングツール 代表取締役 福田健二	・ (株)NHK エンタープライズ 代表取締役社長 松本浩司
・ 有限責任 あずさ監査法人 理事長 高波博之	・ AGC(株) 代表取締役兼社長執行役員 平井良典	・ (学)NHK 学園 理事長 篠原朋子
・ アットホーム(株) 代表取締役社長 鶴森康史	・ SMBC日興証券(株) 代表取締役会長 川崙靖之	・ (株)NHK グローバルメディアサービス 代表取締役社長 根本拓也

- ・(一財)NHK サービスセンター
理事長 | 黄木紀之
- ・(株)NHK出版
代表取締役社長 | 土井成紀
- ・(株)NHK テクノロジーズ
代表取締役社長 | 野口周一
- ・(株)NHK ビジネスクリエイティブ
代表取締役社長 | 石原 勉
- ・(株)NHK プロモーション
代表取締役社長 | 大美慶昌
- ・(株)NHK文化センター
代表取締役社長 | 田中剛志
- ・(一財)NHK放送研修センター
理事長 | 黄木紀之
- ・(株)NTTドコモ
代表取締役社長 | 井伊基之
- ・(株)NTTファンティアーズ
代表取締役社長 | 松原和彦
- ・ENEOS ホールディングス(株)
代表取締役社長 社長執行役員
大田勝幸
- ・荏原冷熱システム(株)
代表取締役 | 庄野 道
- ・大崎電気工業(株)
代表取締役会長 | 渡辺佳英
- ・大塚ホールディングス(株)
代表取締役社長兼CEO | 樋口達夫
- ・(株)大林組
代表取締役社長 | 蓮輪賢治
- ・オールニッポンヘリコプター(株)
代表取締役社長 | 柳川 淳
- ・岡崎耕治
- ・岡山英世
- ・沖電気工業(株)
代表取締役社長執行役員 | 鎌上信也
- ・花王(株)
代表取締役 社長執行役員
長谷部佳宏
- ・カンオ計算機(株)
代表取締役社長 | 櫻尾和宏
- ・鹿島建設(株)
代表取締役社長 | 天野裕正
- ・(株)加藤電気工業所
代表取締役 | 加藤浩章
- ・角川歴彦
- ・(株)金子製作所
代表取締役 | 金子晴房
- ・カルチュア・エンタテインメント(株)
代表取締役社長 | 中西一雄
- ・(株)関電工
取締役社長 | 仲摩俊男
- ・(株)かんぼ生命保険
取締役兼代表執行役社長 | 千田哲也
- ・キッコーマン(株)
取締役名誉会長 | 茂木友三郎
- ・(株)CURIOUS PRODUCTIONS
代表取締役 | 黒川幸太郎
- ・(株)教育芸術社
代表取締役 | 市川かおり
- ・(株)共栄サービス
代表取締役 | 三宅国紀
- ・(株)共同通信会館
代表取締役専務 | 牧野和宏
- ・(一社)共同通信社
社長 | 水谷 亨
- ・キリンホールディングス(株)
代表取締役社長 | 磯崎功典
- ・キングレコード(株)
代表取締役 | 村上 潔
- ・(学)国立音楽大学
理事長 | 山田晴彦
- ・グラフェンプラットフォーム(株)
代表取締役 | 長谷川正治
- ・京王電鉄(株)
代表取締役社長 社長執行役員
紅村 康
- ・京成電鉄(株)
代表取締役社長 | 小林敏也
- ・KDDI(株)
代表取締役社長 | 高橋 誠
- ・京浜急行電鉄(株)
取締役社長 | 原田一之
- ・(医)社団 恒仁会
理事長 | 伊藤恒道
- ・(株)コーポレートディレクション
代表取締役 | 石井光太郎
- ・佐川印刷(株)
代表取締役会長 | 木下宗昭
- ・佐藤弘康
- ・サフラン電機(株)
代表取締役 | 藤崎貴之
- ・(株)サンセイ
代表取締役社長 | 富田 稔
- ・サントリーホールディングス(株)
代表取締役社長 | 新浪剛史
- ・JCOM(株)
代表取締役社長 | 石川雄三
- ・(株)ジャパン・アーツ
代表取締役社長 | 二瓶純一
- ・(株)集英社
代表取締役社長 | 廣野眞一
- ・(株)小学館
代表取締役社長 | 相賀昌宏
- ・ジョンソン・エンド・ジョンソン(株)
- ・(株)白川プロ
代表取締役社長 | 白川亜弥
- ・新赤坂クリニック
院長 | 松木隆央
- ・信越化学工業(株)
代表取締役会長 | 金川千尋
- ・新菱冷熱工業(株)
代表取締役社長 | 加賀美 猛
- ・(株)スカパー・JSATホールディングス
代表取締役社長 | 米倉英一
- ・(株)菅原
代表取締役社長 | 古江訓雄
- ・スズキ(株)
代表取締役社長 | 鈴木俊宏
- ・住友商事(株)
代表取締役社長執行役員 CEO
兵頭誠之
- ・住友電気工業(株)
社長 | 井上 治
- ・セイコーホールディングス(株)
代表取締役会長兼グループCEO兼グルー
プCCO
服部真二
- ・聖徳大学
学長 | 川並弘純
- ・西武鉄道(株)
取締役社長 | 喜多村樹美男
- ・関彰商事(株)
代表取締役会長 | 関 正夫

- ・(株)セノン
代表取締役 | 小谷野宗靖
- ・(株)ソニー・ミュージックエンタテインメント
代表取締役社長 CEO | 村松俊亮
- ・損害保険ジャパン(株)
代表取締役社長 | 西澤敬二
- ・第一三共(株)
代表取締役会長 | 中山讓治
- ・ダイキン工業(株)
取締役社長 | 十河政則
- ・大成建設(株)
代表取締役社長 | 相川善郎
- ・高砂熱学工業(株)
代表取締役社長 | 小島和人
- ・(株)ダク
代表取締役 | 福田浩二
- ・(株)竹中工務店
取締役執行役員社長 | 佐々木正人
- ・田中貴金属工業(株)
代表取締役社長執行役員
田中浩一朗
- ・田原昇
- ・チャンネル銀河(株)
代表取締役社長 | 住田和嘉子
- ・中央日本土地建物(株)
代表取締役社長 | 平松哲郎
- ・中外製薬(株)
代表取締役社長 | 奥田 修
- ・(株)電通
代表取締役 社長執行役員 | 五十嵐 博
- ・(株)TOKAIホールディングス
代表取締役社長 | 鴫田勝彦
- ・東海旅客鉄道(株)
代表取締役社長 | 金子 慎
- ・東急(株)
取締役社長 | 高橋和夫
- ・(株)東急文化村
代表取締役社長 | 中野哲夫
- ・東京海上日動火災保険(株)
取締役社長 | 広瀬伸一
- ・(株)東京交通会館
取締役社長 | 興野敦郎
- ・東信地所(株)
代表取締役 | 堀川利通
- ・東武鉄道(株)
取締役社長 | 根津嘉澄
- ・桐朋学園大学
学長 | 梅津時比古
- ・東邦ホールディングス(株)
取締役最高顧問 | 濱田矩男
- ・(株)東北新社
代表取締役社長 | 中島信也
- ・(-財)凸版印刷三幸会
代表理事 | 金子眞吾
- ・トヨタ自動車(株)
代表取締役社長 | 豊田章男
- ・内外施設工業グループホールディングス(株)
取締役会長 | 林 正道
- ・中銀グループ
代表 | 渡辺蔵人
- ・中山武之
- ・日鉄興和不動産(株)
代表取締役社長 | 今泉泰彦
- ・日東紡績(株)
取締役 代表執行役社長 | 辻 裕一
- ・日本カイン(株)
取締役社長 | 小林 茂
- ・(株)日本国際放送
代表取締役社長 | 高尾 潤
- ・日本通運(株)
代表取締役社長 | 齋藤 充
- ・日本電気(株)
代表取締役執行役員社長 | 森田隆之
- ・(-財)日本放送協会共済会
理事長 | 谷弘聡史
- ・日本郵政(株)
取締役兼代表執行役社長 | 増田寛也
- ・(株)ニフコ
代表取締役社長 | 柴尾雅春
- ・(株)日本デジコム
代表取締役 | 竹井裕二
- ・野村ホールディングス(株)
代表執行役社長 | 奥田健太郎
- ・パナソニック(株)
代表取締役 社長執行役員 CEO
楠見雄規
- ・(有)パルフェ
代表取締役 | 伊藤良彦
- ・東日本電信電話(株)
代表取締役社長 | 井上福造
- ・(株)日立製作所
執行役社長 | 東原敏昭
- ・(株)フォトロン
代表取締役 | 瀧水 隆
- ・福田三千男
- ・富士通(株)
代表取締役社長 | 時田隆仁
- ・富士通フロンテック(株)
代表取締役社長 | 川上博亨
- ・古川建築音響研究所
所長 | 古川宣一
- ・(株)朋栄ホールディングス
代表取締役 | 清原慶三
- ・(株)放送衛星システム
代表取締役社長 | 井上樹彦
- ・(公)放送文化基金
理事長 | 濱田純一
- ・ホクト(株)
代表取締役 | 水野雅義
- ・前田工織(株)
代表取締役社長兼COO | 前田尚宏
- ・(株)松尾楽器商会
代表取締役 | 松尾治樹
- ・丸紅(株)
代表取締役社長 | 柿木真澄
- ・溝江建設(株)
代表取締役社長 | 溝江 弘
- ・三井住友海上火災保険(株)
代表取締役 | 船曳真一郎
- ・(株)三井住友銀行
頭取 | 高島 誠
- ・三菱商事(株)
代表取締役社長 | 垣内威彦
- ・三菱電機(株)
執行役社長 | 漆間 啓
- ・(株)緑山スタジオ・シティ
代表取締役社長 | 難波一弘
- ・三橋産業(株)
代表取締役会長 | 三橋洋之
- ・三原穂積
- ・(学)武蔵野音楽学園
理事長 | 福井直敬

- ・(株)明治
代表取締役社長 | 松田克也
- ・(株)明電舎
取締役社長 | 三井田 健
- ・(株)目の眼
代表 | 櫻井 恵
- ・森ビル(株)
代表取締役社長 | 辻 慎吾
- ・森平舞台機構(株)
代表取締役 | 森 健輔
- ・矢下茂雄
- ・山田産業(株)
代表取締役 | 山田裕幸

- ・(株)山野楽器
代表取締役社長 | 山野政彦
- ・(株)ヤマハミュージックジャパン
代表取締役社長 | 押木正人
- ・ユニオンツール(株)
代表取締役会長 | 片山貴雄
- ・米澤文彦
- ・(株)読売広告社
代表取締役社長 | 藤沼大輔
- ・(株)読売旅行
代表取締役社長 | 坂元 隆
- ・料亭 三長
代表 | 高橋千善

- ・(株)リンレイ
代表取締役社長 | 鈴木信也
 - ・(有)ルナ・エンタープライズ
代表取締役 | 戸張誠二
 - ・ローム(株)
代表取締役社長 社長執行役員
松本 功
 - ・YKアクロス(株)
代表取締役社長 | 中野健次
- (五十音順、敬称略)

NHK交響楽団への ご寄付について

NHK交響楽団は多くの方々の貴重なご寄付に支えられて、積極的な演奏活動を展開しております。定期公演の充実をはじめ、著名な指揮者・演奏家の招聘、意欲あふれる特別演奏会の実現、海外公演の実施など、今後も音楽文化の向上に努めてまいりますので、みなさまのご支援をよろしくお願い申し上げます。

「賛助会員」入会のご案内

NHK交響楽団は賛助会員制度を設け、上記の方々にご支援をいただいております。当団の経営基盤を支える大きな柱となっております。会員制度の内容は次の通りです。

■当団は「公益財団法人」として認定されています。

当団は芸術の普及向上を行うことを主目的とする法人として「公益財団法人」の認定を受けているため、当団に対する寄付金は税制上の優遇措置の対象となります。

1. 会費：一口50万円(年間)
2. 期間：入会は随時、年会費をお支払いいただいたときから1年間
3. 入会の特典：『フィルハーモニー』、『年間パンフレット』、『第9』演奏会プログラム等にご芳名を記載させていただきます。

N響主催公演のご鑑賞の機会を設けます。

遺贈のご案内

資産の遺贈(遺言による寄付)を希望される方々のご便宜をお図りするために、NHK交響楽団では信託銀行が提案する「遺言信託制度」をご紹介します(三井住友信託銀行と提携)。相続財産目録の作成から遺産分割手続の実施まで、煩雑な相続手続を信託銀行が有償で代行いたします。まずはN響寄付担当係へご相談ください。

お問い合わせ

公益財団法人 NHK交響楽団「寄付担当係」

TEL：03-5793-8120

曲目解説執筆者

小林ひかり (こばやし ひかり)

北欧音楽研究家。大阪大学大学院文学研究科(音楽学)博士後期課程修了。訳書にアーリング・ダール著『グリーグ——その生涯と音楽』、論文に「近代日本におけるグリーグの音楽の受容」など。

新田ユリ (にった ゆり)

指揮者。プザンソン国際指揮者コンクールファイナリスト、東京国際音楽コンクール第2位受賞を経て2000年文化庁芸術家在外研修生としてフィンランドに派遣。以来日本とフィンランドを拠点に活動。現在日本シベリウス協会第3代会長も務める。著書に「ボホヨラの調べ」。

安田和信 (やすだ かずのぶ)

国立音楽大学大学院音楽研究科音楽学専攻修了。桐朋学園大学准教授。おもな研究領域は18世紀の西洋音楽史。共著書に『楽譜をまるごと読み解く本』『200CD オーケストラ こだわりの聴き方』など、共訳書にニール・ザスロー、ウィリアム・カウデリー編『モーツァルト全作品事典』など。

(五十音順、敬称略)

Information

新入団

ヴァイオリン首席 村上淳一郎(むらかみじゅんいちろう) 2021年10月1日付で入団

訃報

当団元コンサートマスター(1955年4月入団)で団友の坂本玉明(さかもと たまあき)氏が2021年8月26日に逝去されました。享年89。謹んでご冥福をお祈りいたします。

当団元打楽器奏者(1968年3月入団)で団友の今村三明(いまむら みつあき)氏が2021年9月13日に逝去されました。享年75。謹んでご冥福をお祈りいたします。

みなさまの声をお聞かせください！

インターネットアンケートにご協力ください

ご鑑賞いただいた公演や、N響の活動に対するみなさまのご意見を、ぜひお寄せください。
ご協力をお願いいたします。

アクセス方法

STEP

1



スマートフォンで右の
QRコードを読み取る。
またはURLを入力
[https://www.nhkso.or.jp/
enquete.html](https://www.nhkso.or.jp/enquete.html)



STEP

2



開いたリンク先からアンケートサイトに入る

STEP

3



アンケートに答えて(約5分)、
「送信」を押して完了！

ほかにもご意見・ご感想がありましたらお寄せください。

会場入口の主催者受付に設置の「ご意見回収箱」に投函いただくか、

〒108-0074 東京都港区高輪2-16-49 NHK交響楽団 フィルハーモニー編集までお送りください。

ふりがな		年齢	歳
お名前		TEL	

個人情報の取り扱いについて

ご提供いただいた個人情報は、必要な場合、ご記入者様への連絡のみに使用し、他の目的に使用いたしません。

NHK SYMPHONY ORCHESTRA, TOKYO

Chief Conductor: Paavo Järvi

Music Director Emeritus: Charles Dutoit

Honorary Conductor Laureate: Herbert Blomstedt

Conductor Laureate: Vladimir Ashkenazy

Permanent Conductors: Yuzo Toyama, Tadaaki Otaka

First Concertmaster: Fuminori Maro Shinozaki

Concertmaster: Ryotaro Ito

Guest Concertmaster: Kei Shirai

1st Violins

Shirabe Aoki
Kyoko Une
Yuki Oshika
Ryota Kuratomi
Ko Goto
Tamaki Kobayashi
Toshihiro Takai
Yuki Naoi
Yumiko Nakamura
Takao Furihata
○ Hiroyuki Matsuda
Nana Miyagawa
○ Masahiro Morita
○ Tsumotomu Yamagishi
□ Masamichi Yokoshima
○ Koichi Yokomizo

2nd Violins

○ Nobuko Obayashi
◎ Rintaro Omiya
Toshiyuki Kimata
Maiko Saito
Keiko Shimada
○ Atsushi Shirai
○ Akiko Tanaka
Kirara Tsuboi
Yosuke Niwa
Kazuhiko Hirano
Yoko Funaki
Kenji Matano
○ Haruhiko Mimata
Masaya Yazu
Yoshikazu Yamada
Toshiro Yokoyama
Yuka Yoneda

Ryuto Muraō

Violas

◎ Ryo Sasaki
◎ Junichiro Murakami
☆ Shotaro Nakamura
Satoshi Ono
Shigetaka Obata
□ Gentaro Sakaguchi
Mayumi Taniguchi
Hiroto Tobisawa
○ Hironori Nakamura
Naoyuki Matsui
Rachel Yui Mikuni
Yuya Minorikawa
○ Ryo Muramatsu
Yuji Yamada

Cellos

◎ Rei Tsujimoto
◎ Ryoichi Fujimori
Hiroya Ichi
Yukinori Kobatake
Masahide Sannohe
Miho Naka
○ Ken'ichi Nishiyama
○ Shunsuke Fujimura
Hiroschi Miyasaka
Yuki Murai
○ Shunsuke Yamanouchi
Masako Watanabe

Contrabasses

◎ Shu Yoshida
☆ Masanori Ichikawa
☆ Shinji Nishiyama
Eiji Inagawa
○ Jun Okamoto
Takashi Konno
Hiroaki Sagawa
Tatsuro Honma
Yoko Yanai

Flutes

◎ Masayuki Kai
◎ Hiroaki Kanda
Maho Kajikawa
Jun Sugawara
Junji Nakamura

Oboes

◎ Satoki Aoyama
◎ Yumi Yoshimura
Shoko Ikeda
Izumi Tsuboike
Hitoshi Wakui

Clarinets

◎ Kei Ito
◎ Kenji Matsumoto
Takashi Yamane

Bassoons

◎ Hironori Ugajin
◎ Kazusa Mizutani
Yuki Sato
Keiko Sugawara
Itaru Morita

Horns

◎ Hitoshi Imai
◎ Nobuaki Fukukawa
Naoki Ishiyama
Yasushi Katsumata
Hiroschi Kigawa
Kazuko Nomiya

Trumpets

◎ Kazuaki Kikumoto
◎ Tomoyuki Hasegawa

Tomoki Ando
Eiji Yamamoto

Trombones

◎ Hikaru Koga
◎ Mikio Nitta
Ko Ikegami
Hiroyuki Kurogane
Takenori Yoshikawa

Tuba

Yukihiro Ikeda

Timpani

◎ Toru Uematsu
◎ Shoichi Kubo

Percussion

Tatsuya Ishikawa
Hidemi Kuroda
Satoshi Takeshima

Harp

Risako Hayakawa

Stage Manager

Masaya Tokunaga
Daisuke Kurokawa

Librarian

Akane Oki
Hideo Kimura

(◎)Principal, (☆)Acting Principal, (○)Vice Principal, (□)Acting Vice Principal, (#)Inspector

The Subscription Concerts Program 2021–22

2021
10

keibukuro

Concert No. 1939

October

16 (Sat) 6:00pm

A

17 (Sun) 2:00pm

Tokyo Metropolitan
Theatre

Brahms Violin Concerto D Major Op. 77
Nielsen Symphony No. 5 Op. 50

Herbert Blomstedt, conductor
Leonidas Kavakos, violin

Ordinary	Youth
S 9,800	S 5,800
A 8,400	A 4,800
B 6,700	B 3,800
C 5,400	C 2,800
D 4,400	D 1,800

B

Concert No. 1941

October

27 (Wed) 7:00pm

28 (Thu) 7:00pm

Suntory Hall

Stenhammar Serenade F Major Op. 31
Beethoven Symphony No. 5 C Minor Op. 67

Herbert Blomstedt, conductor

Ordinary	Youth
S 9,800	S 5,800
A 8,400	A 4,800
B 6,700	B 3,800
C 5,400	C 2,800
D 4,400	D 1,800

keibukuro

Concert No. 1940

October

22 (Fri) 7:30pm

C

23 (Sat) 2:00pm

Tokyo Metropolitan
Theatre

Grieg "Peer Gynt," suite No. 1 Op. 46
Dvořák Symphony No. 8 G Major Op. 88

Herbert Blomstedt, conductor

Ordinary	Youth
S 7,400	S 4,500
A 6,500	A 4,000
B 5,200	B 3,000
C 4,200	C 2,000
D 3,200	D 1,400

2021
11

keibukuro

Concert No. 1942

November

13 (Sat) 6:00pm

A

14 (Sun) 2:00pm

Tokyo Metropolitan
Theatre

Weber "Der Freischütz," opera Op. 77—Overture
Liszt Piano Concerto No. 2 A Major
Franz Schmidt Symphony No. 2 E-flat Major

Fabio Luisi, conductor
Alessandro Taverna, piano

Ordinary	Youth
S 9,800	S 5,800
A 8,400	A 4,800
B 6,700	B 3,800
C 5,400	C 2,800
D 4,400	D 1,800

B

Concert No. 1944

November

24 (Wed) 7:00pm

25 (Thu) 7:00pm

Suntory Hall

Paganini Violin Concerto No. 1 D Major Op. 6
Tchaikovsky Symphony No. 5 E Minor Op. 64

Fabio Luisi, conductor
Francesca DeGo, violin

Ordinary	Youth
S 9,800	S 5,800
A 8,400	A 4,800
B 6,700	B 3,800
C 5,400	C 2,800
D 4,400	D 1,800

keibukuro

Concert No. 1943

November

18 (Thu) 7:30pm*

C

19 (Fri) 7:30pm

Tokyo Metropolitan
Theatre

Bruckner Symphony No. 4 E-flat Major "Romantische"

Fabio Luisi, conductor

Ordinary	Youth
S 7,400	S 4,500
A 6,500	A 4,000
B 5,200	B 3,000
C 4,200	C 2,000
D 3,200	D 1,400

*The concert (C-2) usually held on Saturday will be held on Thursday at 7:30p.m. this month.

2021
12

keibukuro

Concert No. 1945

December

4 (Sat) 6:00pm

A

5 (Sun) 2:00pm

Tokyo Metropolitan
Theatre

Brahms "Variationen über ein Thema von Haydn," Op. 56a
R. Strauss 4 Letzte Lieder
Schönberg "Verklärte Nacht," Op. 4

Kazuki Yamada, conductor
Noriko Sasaki, soprano

Ordinary	Youth
S 8,900	S 5,500
A 7,400	A 4,500
B 5,800	B 3,500
C 4,700	C 2,500
D 3,700	D 1,500

B

Concert No. 1947

December

15 (Wed) 7:00pm

16 (Thu) 7:00pm

Suntory Hall

Haydn Symphony No. 22 E-flat Major Hob. I-22 "Der Philosoph"
HK Gruber Aerial* [Japan Première]
R. Strauss

"Also sprach Zarathustra," Tondichtung frei nach Nietzsche Op. 30

Dima Slobodeniouk, conductor
Håkan Hardenberger, trumpet*

Ordinary	Youth
S 8,900	S 5,500
A 7,400	A 4,500
B 5,800	B 3,500
C 4,700	C 2,500
D 3,700	D 1,500

keibukuro

Concert No. 1946

December

10 (Fri) 7:30pm

C

11 (Sat) 2:00pm

Tokyo Metropolitan
Theatre

Tchaikovsky "Variations on a Rococo Theme," Op. 33
Mussorgsky / Ravel Tableaux d'une exposition," suite

Vasily Petrenko, conductor
Daniel Müller-Schott, cello

Ordinary	Youth
S 7,400	S 4,500
A 6,500	A 4,000
B 5,200	B 3,000
C 4,200	C 2,000
D 3,200	D 1,400

A **Tokyo Metropolitan Theatre**
Sat. 6:00pm (doors open at 5:00pm)
Sun. 2:00pm (doors open at 1:00pm)

B **Suntory Hall**
Wed. 7:00pm (doors open at 6:20pm)
Thu. 7:00pm (doors open at 6:20pm)

C **Tokyo Metropolitan Theatre**
Fri. 7:30pm (doors open at 6:30pm)
Sat. 2:00pm (doors open at 1:00pm)

2022
01

Concert No. **1948**

January
15 (Sat) 6:00pm
16 (Sun) 2:00pm
Tokyo Metropolitan
Theatre

Chopin / Glazunov
Polonaise A Major Op. 40-1 "Polonaise militaire" (Orchestral Version)
Chopin / Stravinsky Nocturne A-flat Major Op. 32-2 (Orchestral Version)
Paderewski Fantaisie polonaise sur des thèmes originaux G Minor Op. 19*
Stravinsky "L'oiseau de feu," ballet (1910 Edition)
Keitaro Harada, conductor Kyoei Sorita, piano*

Ordinary	Youth
S 8,900	S 5,500
A 7,400	A 4,500
B 5,800	B 3,500
C 4,700	C 2,500
D 3,700	D 1,500

Concert No. **1950**

January
26 (Wed) 7:00pm
27 (Thu) 7:00pm
Suntory Hall

Prokofiev "War and Peace," opera—Waltz
Prokofiev Piano Concerto No. 3 C Major Op. 26
Prokofiev Symphony No. 5 B-flat Major Op. 100
Tugan Sokhiev, conductor
Haochen Zhang, piano

Ordinary	Youth
S 8,900	S 5,500
A 7,400	A 4,500
B 5,800	B 3,500
C 4,700	C 2,500
D 3,700	D 1,500

Concert No. **1949**

January
21 (Fri) 7:30pm
22 (Sat) 2:00pm
Tokyo Metropolitan
Theatre

Bruch Violin Concerto No. 1 G Minor Op. 26
Brahms Symphony No. 3 F Major Op. 90
Tugan Sokhiev, conductor
Vadim Gluzman, violin

Ordinary	Youth
S 7,400	S 4,500
A 6,500	A 4,000
B 5,200	B 3,000
C 4,200	C 2,000
D 3,200	D 1,400

2022
02

Concert No. **1951**

February
5 (Sat) 6:00pm
6 (Sun) 2:00pm
Tokyo Metropolitan
Theatre

Brahms Piano Concerto No. 2 B-flat Major Op. 83
Schumann Symphony No. 2 C Major Op. 61
Paavo Järvi, conductor
Igor Levit, piano

Ordinary	Youth
S 9,800	S 5,800
A 8,400	A 4,800
B 6,700	B 3,800
C 5,400	C 2,800
D 4,400	D 1,800

Concert No. **1953**

February
16 (Wed) 7:00pm
17 (Thu) 7:00pm
Suntory Hall

Britten "Peter Grimes," opera—Four Sea Interludes Op. 33a
Barber Violin Concerto Op. 14
Elgar Variations on an Original Theme Op. 36 "Enigma"
Paavo Järvi, conductor
Hilary Hahn, violin

Ordinary	Youth
S 9,800	S 5,800
A 8,400	A 4,800
B 6,700	B 3,800
C 5,400	C 2,800
D 4,400	D 1,800

Concert No. **1952**

February
11 (Fri) 7:30pm
12 (Sat) 2:00pm
Tokyo Metropolitan
Theatre

R. Strauss Symphonic Fragment from "Josephs Legende," ballet
R. Strauss Eine Alpensinfonie Op. 64
Paavo Järvi, conductor

Ordinary	Youth
S 7,400	S 4,500
A 6,500	A 4,000
B 5,200	B 3,000
C 4,200	C 2,000
D 3,200	D 1,400

2022
04

Concert No. **1954**

April
9 (Sat) 6:00pm
10 (Sun) 2:00pm
Tokyo Metropolitan
Theatre

Dvořák "Carnival," overture Op. 92
Mozart Flute Concerto No. 1 G Major K. 313
Beethoven Symphony No. 7 A Major Op. 92
Christoph Eschenbach, conductor
Stathis Karapanos, flute

Ordinary Ticket	Youth Ticket
S 9,800	S 5,800
A 8,400	A 4,800
B 6,700	B 3,800
C 5,400	C 2,800
D 4,400	D 1,800

B

Due to the renovation of Suntory Hall,
April 2022 concerts will be cancelled.

Concert No. **1955**

April
15 (Fri) 7:30pm
16 (Sat) 2:00pm
Tokyo Metropolitan
Theatre

Mahler Symphony No. 5 C-sharp Minor
Christoph Eschenbach, conductor

Ordinary	Youth
S 7,400	S 4,500
A 6,500	A 4,000
B 5,200	B 3,000
C 4,200	C 2,000
D 3,200	D 1,400

2022
05

Ikebukuro

Concert No. **1956**

May

14 (Sat) 6:00pm

A

15 (Sun) 2:00pm

Tokyo Metropolitan
Theatre

Schumann Violin Concerto D Minor
Schubert Symphony No. 8 C Major D. 944 "Die Große"

Marek Janowski, conductor
Alena Baeva, violin

Ordinary	Youth
S 8,900	S 5,500
A 7,400	A 4,500
B 5,800	B 3,500
C 4,700	C 2,500
D 3,700	D 1,500

B

Concert No. **1958**

May

25 (Wed) 7:00pm

26 (Thu) 7:00pm

Suntory Hall

Mendelssohn "Meeresstille und glückliche Fahrt," overture Op. 27
Ravel Piano Concerto G Major
Rimsky-Korsakov "Schéhérazade," symphonic suite Op. 35

Fabio Luisi, conductor
Yu Kosuge, piano

Ordinary	Youth
S 9,800	S 5,800
A 8,400	A 4,800
B 6,700	B 3,800
C 5,400	C 2,800
D 4,400	D 1,800

Ikebukuro

Concert No. **1957**

May

20 (Fri) 7:30pm

C

21 (Sat) 2:00pm

Tokyo Metropolitan
Theatre

Mozart "Don Giovanni," opera K. 527–overture
Mozart Piano Concerto No. 20 D Minor K. 466
Beethoven Symphony No. 8 F Major Op. 93

Fabio Luisi, conductor
Alexander Melnikov, piano

Ordinary	Youth
S 7,400	S 4,500
A 6,500	A 4,000
B 5,200	B 3,000
C 4,200	C 2,000
D 3,200	D 1,400

2022
06

Ikebukuro

Concert No. **1959**

June

11 (Sat) 6:00pm

A

12 (Sun) 2:00pm

Tokyo Metropolitan
Theatre

Dukas "La Péri," poème dansé (With its appended Fanfare)
Ravel Schéhérazade*
Debussy Prélude à l'après-midi d'un faune
Florent Schmitt "La tragédie de Salomé," ballet suite Op. 57

Stéphane Denève, conductor
Stéphanie d'Oustrac, mezzo soprano*

Ordinary	Youth
S 8,900	S 5,500
A 7,400	A 4,500
B 5,800	B 3,500
C 4,700	C 2,500
D 3,700	D 1,500

B

Concert No. **1961**

June

22 (Wed) 7:00pm

23 (Thu) 7:00pm

Suntory Hall

Bach / Suzuki Passacaglia and Fugue C Minor BWV582
Britten Violin Concerto Op. 15
Mozart Symphony No. 41 C Major K. 551 "Jupiter"

Masato Suzuki, conductor
Sunao Goko, violin

Ordinary	Youth
S 8,900	S 5,500
A 7,400	A 4,500
B 5,800	B 3,500
C 4,700	C 2,500
D 3,700	D 1,500

Ikebukuro

Concert No. **1960**

June

17 (Fri) 7:30pm

C

18 (Sat) 2:00pm

Tokyo Metropolitan
Theatre

Poulenc "Les biches," ballet suite
Poulenc Organ Concerto G Minor
Gershwin An American in Paris

Stéphane Denève, conductor
Olivier Latry, organ

Ordinary	Youth
S 7,400	S 4,500
A 6,500	A 4,000
B 5,200	B 3,000
C 4,200	C 2,000
D 3,200	D 1,400

(consumption tax included)

All performers and programs are subject to change or cancellation depending on the circumstances.

しなやかな響き 颯爽とした無伴奏

J.S. バッハ

無伴奏チェロ組曲

木越 洋

【CD】
MM-4086-87(2CD) / ¥4,400



屈指の奏者、木越洋による待望の「バッハ：無伴奏チェロ組曲」。同作品の全曲演奏会を20数年に渡り毎年開催、通算では100回を優に越えるという。長きに渡り作品と対峙してきた奏者だからこそ、「組曲」それぞれのイメージ溢れる深い解釈は、作品の新たな側面を示し、聴く者を魅了します。また、濁りの無い響きを求め、倍音を意識した独自の細やかなチューニングに取り組み木越。そのニュアンス豊かな響きを高解像度録音で録えました。

J.S. BACH The 6 Cello Suites YO KIGOSHI



鮮やかなギターと優美なオーボエの歌

白鳥の歌

オーボエとギターの作品集

池田 昭子^{Ob} 福田 進一^G

ナポレオン・コスト:ロマンズ、カンティレーナ 高地
カール・ビルス:オーボエとギターのためのソナチネ
シューベルト(コスト編):セレナーテ、舟歌、他



【CD】 MM-4069 / ¥3,300

お互いの持ち味を引き立て、抜群に相性の良い響きを聴かせてくれる、ダブルリードと撥弦楽器による二重奏。オリジナル作品を軸に、池田昭子によるオーボエとイングリッシュホルンの甘美な歌が冴える、歌曲を交えてのプログラム。世界的ギタリスト、福田進一との注目のコラボレーションです。

荘重な響きが降り注ぐ! 圧巻の作品集

シャコンヌ チェロ・クアルテット K



安田 謙一郎 1st, 藤村 俊介 2nd, 宮坂 拓志 3rd, 木越 洋 4th

J. S. バッハ:シャコンヌ/グズネツォフ組曲 【CD】
ラヴェル:亡き女王のためのバヴァーヌ、他 MM-4081 / ¥3,300

カサドやフルニエといった名だたる巨匠に師事し、国内外でチェリスト・作曲家として活躍する、重鎮、安田謙一郎。彼を筆頭に、その門下が集った「チェロ・クアルテット K」。プログラムは、ヴァルガの名編曲で人気も高いシャコンヌに、録音希少なオリジナル作品のグズネツォフ組曲など。これら個性溢れる作品を、変化に富んだ荘重な響きで聴かせる、注目盤です。



ハイレゾDXD384で聴くクラシック mora x マイスター・ミュージック →



MEISTER MUSIC
http://www.meister-music.com

DXD384kHz
ハイレゾ録音

マイスター・ミュージックは 邦人初のディプロム・トーンマイスター主宰
高音質ハイレゾ録音&マスタリングのクラシック音楽専門レーベルです

「良い教育は、
良い環境から」

— 学園創立者 —



川並 香順 川並 孝子



《幼稚園から大学院まで計18の教育機関》

*実就職率 **96.3%** (全国女子大学ランキング1位)^{*1} *教育系就職率 **8年連続 100%**

*保育士採用数 **15年連続全国1位**^{*2} *幼稚園教員採用数 **8年連続 14回目 全国1位**^{*2}

※1：大学通信調べ卒業生 500人以上の女子大の実就職率ランキング ※2：2020年 大学通信調べ



SEITOKU

聖徳大学 (女子)

聖徳大学短期大学部 (女子)

〒271-8555

千葉県松戸市岩瀬 550

TEL.047-365-1111 (大代表)

聖徳大学

検索

<https://www.seitoku-u.ac.jp/>

聖徳大学大学院 聖徳大学教職大学院 聖徳大学 聖徳大学短期大学部 聖徳大学幼児教育専門学校
光英 VERITAS 高等学校 聖徳大学附属取手聖徳女子高等学校 光英 VERITAS 中学校
聖徳大学附属取手聖徳女子中学校 聖徳大学附属小学校 聖徳大学三田幼稚園 聖徳大学八王子幼稚園
聖徳大学多摩幼稚園 聖徳大学附属幼稚園 聖徳大学附属第二幼稚園 聖徳大学附属成田幼稚園
聖徳大学附属浦安幼稚園 聖徳大学オープン・アカデミー (SOA)



感動は、聴くほどに新しく。

“音楽感動を最高のレベルで体験する喜び”。ESOTERICは創設以来、アーティストが録音した音の再現を目標に、オーディオの開発を行ってまいりました。

聴き込むほどに、音楽から新しい感動を引き出し、オリジナリティーとこだわりに溢れたオーディオでありたい。私たちは、日本発のハイエンドブランドとしての独自の道を歩んでいます。

時代とともに変わる音楽再生のスタイル。しかし、音楽を心から愛し、本物の感動を求める想いは変わりません。その想いに、最上級のオーディオで応える。それが私たちの使命です。



ESOTERIC



ME NO ME SINCE 1977 目の眼

1977年創刊以来、古美術・骨董の情報量 No.1。
趣向を凝らした特集から、文化人や経済人たち
による多彩な連載、豊富なお店データ、全国の
企画展やイベント情報まで、“旬な古美術・骨董”
をお伝えしています。

続けて読むなら 定期購読がおトク！

ご指定の号から1年間12冊

¥10,000 (消費税) (送料込)

買い逃しの心配なし
送料無料で毎号ご自宅のポストまで
お届けします。

特典
1

気になる記事が、すぐ読める
定期購読者限定“バックナンバー読み
放題”WEBサイトで100冊(2013年
4月号～)の記事を追いかけられます。

特典
2

【お申し込みは目の眼ホームページから】
<https://menomeonline.com>



毎月15日発売 定価1,320円(税込)
最新号WEB 無料公開



NHK
音楽祭
～未来へ～
2021
MEET the CLASSICS

NHK交響楽団

指揮：尾高忠明 ピアノ：第18回ショパン国際ピアノコンクール最高位(予定)



Tadaaki
Otaka

© Martin Richardson

ショパンコンクールからの凱旋!!
世界が見つめる才能が紡ぐ、妙なる響き。
N響との絆も強い名指揮者による
ショスタコーヴィチにも期待!



Chopin
Piano Competition
Winner



ショパン/ピアノ協奏曲 第1番 ホ短調 作品11

または ピアノ協奏曲 第2番 ヘ短調 作品21

Chopin: Piano Concerto No.1 E minor Op.11 or No.2 F minor Op.21

ショスタコーヴィチ/交響曲 第5番 ニ短調 作品47

Shostakovich: Symphony, No.5 in D minor, Op.47

2021年11月8日(月) 19:00開演 (18:00開場/21:00終演予定) **Bunkamura オーチャードホール**
S席:¥8,500 A席:¥6,500 B席:¥5,500 C席:¥3,500 (消費税込) **前売券 好評販売中**

※チケットのご購入前に必ず、NHK音楽祭ホームページ (<https://www.nhk-p.co.jp/>) で新型コロナウイルス感染症予防対策についてご確認ください。ご了承のうえ、ご購入・ご来場をお願いします。
※出演者・曲目・開演時間等に変更が生じる場合があります。その場合のチケットのお申し込み・購入後の変更、キャンセル、払い戻しはできません。※就学前のお子様のご同伴・入場はご遠慮ください。

N響ガイド

TEL. 03-5793-8161

(受付:火曜日～金曜日 11:00～17:00)

※祝日・休日をのぞく。※電話受付のみ

Bunkamura

オンラインチケットMY Bunkamura

<https://mybun.jp> (24時間対応)

Bunkamuraチケットセンター

03-3477-9999 (オペレーター対応 10:00～17:00)

Bunkamuraチケットカウンター

(Bunkamura 1F 10:00～18:00)

チケットぴあ Pコード 199-056

0570-02-9999 (音声応答電話予約)

※毎週火・水 2:30～5:30は、システムメンテナンスのため受付休止となります。

<https://w.pia.jp/t/nhkfes/>
(インターネット受付)

イープラス

<https://eplus.jp/nhk/>

(インターネット受付)

主催：NHK、NHKプロモーション

共催：NHK交響楽団 協賛：岩谷産業

協賛：Canon キヤノンマーケティングジャパン TOKAIグループ MIZUHO みずほ銀行

NHK音楽祭2021 Line Up

10/9 (土)	オーケストラ・アンサンブル金沢	指揮：井上道義	ピアノ：奥井紫麻	フルート：松木さや	石川県立音楽堂コンサートホール
10/20 (水)	仙台フィルハーモニー管弦楽団	指揮：高関健	ピアノ：藤田真央		日立システムズホール 仙台・コンサートホール
11/3 (水・祝)	九州交響楽団	指揮：田中祐子	ピアノ：金子三勇士		熊本県立劇場コンサートホール
11/25 (木)	日本センチュリー交響楽団	指揮：飯森範親	ピアノ：松田華音		NHK大阪ホール

●お問い合わせ● ハローダイヤル TEL:050-5541-8600 9:00～20:00(無休)

脱炭素の道へ。 水素とLPガスが加速する。



温暖化ガス排出実質ゼロ社会の実現を目指して。

イワタニはLPガス・**Marui gas**の全国販売ネットワークを活かし、脱炭素の主役となる水素を暮らしと産業にお届けする準備を進めています。さらに、低炭素なLPガスの開発、廃プラスチックやバイオガス由来の水素やLPガス製造、新しいLPガス合成技術などを推進。クリーンエネルギーのトップランナーとして走り続けます。

水素&LPガスシェアNo.1[※]

※国内における販売シェア(2021年5月現在、自社調べ)

Iwatani

岩谷産業株式会社